				事務事業評価表	文(平成2	9年度)							
事業コード	850		課コード	0703	会計種別	一般会計		予算の種類	■政策 □経常	□なし			
1. 事業の概要(PLAN)													
+ X	O = # 5	基本事業 良質な信	主宅供給の推進			実施計画への	2 + 0 =	(a) ±11=11 (z)	*** ***				
	①事業名		它の維持補修			位置づけ	●有○無	②部課名	都市部・建築住宅課				
	③事業主体 ⑤事業期間	●市 ○その	D他(~)	④対象地区 ⑥担当職員数	□我孫子 □天王台	□湖北 □新木 5 人 (換算人数	□布佐 ■全市 0.5 人)				
(1)事業概要	⑦事業費	総事業費		61.119 千円		当該(開始)年度	(当 初) 160,	,060 千円 (うち人件費					
	(人件費含む)	松争未复	I	01,119 TH		ヨ談(開始) 年度	(変更後)	千円 (うち人件費	十円)				
	⑧施策の位置づけ	施策 コード	64001	重点プロジェクト への位置づけ	重点なし	基本計画地区別 計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画へ 位置づけ	の (計画名)				
(2)目的	施策目的・			────────────────────────────────────			入居者が快適で安心して暮らせる	る施設の整備。					
(2) [1]	展開方向	活用を視野に入れた	と、より広い枠組み(の中で効率的かつ柔軟な供給を進めていきます。 Eの大規模改修及び耐震化等の工事		7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	・市営住宅大規模改修工事(小名	算団地1・2・3号種)					
		印召任七政分明10.6	川画に奉 フィル名は-	この八が快以廖及い前辰 にそのエチ		当該年度	・市営住宅大規模改修工事 (小福 ・市営住宅大規模改修工事監理 ・市営住宅大規模改修工事設計	(小暮団地1・2・3号棟)					
(3)事業内容	内容					執行計画	· 市営住宅耐震診断(日秀団地 2	2号棟)					
						当該年度	大規模改修工事による長寿命化及び耐震基準を満たした市営住宅の棟 想定値						
						活動結果指標	数		単位 棟 実績値				
(4)達成目標(期待する成果)	λ 民 老 が 快 滴 で	安心して暮らせる施訓		票(期待する成果)		指標種類	指 小暮団地1・2・3号棟大規模改	標	単位 (5)現況値	(6)目標値			
当該(開始)年度		安心して暮らせる施記				直接	4・5棟設計業務、日秀団地2号 当該年度に実施する大規模改修工	号棟号耐震診断の実施率	96 0				
3年後		安心して暮らせる施記				直接	当該年度に実施する大規模改修工		% 0				
最終(概ね5年後)		しっかり行い、年度内		なければならない。		直接			% 0	100			
(7)事業実施上の課題と対応	_,		,			代替案検討	O有 ●無						
		平成28年度		平成29年度		<u> </u>	平成30年度		平成31年度	1			
	策	内 容		政 策 大		直(千円) 政策	内 容	金額(千円) 政策	内 容	金額(千円)			
	市営住宅設備工施設修繕料		6, 800		143, 748			105 400		115, 919			
	* 根古屋団地3	・4号棟・集会場改修 ・4号・集会場改修工	.事監 3,604		4, 304 4, 937	* 小暮団	地4・5号棟改修工事地4・5号棟工事監理	5,570 * 北原団均	比原団地改修工事 比原団地改修工事監理				
	* 市営住宅遊具招		783	*: 小暮団地4·5号棟改修工事設計 *: 日秀団地2号棟耐震診断	*:北原団	地改修工事設計	4, 812						
実施内容	*: 小春団地雨水風	宁留浸透施設設置工事	·設計 U										
(8) 施行事項 費 用													
		숙 計	89, 434	合 計	155, 660		合 計	135, 791	合 計	121, 200			
国庫支出金	補助率	50 % 0 %	33, 848	補助率 50 %	71, 591	補助率	50 % 0 %	57,417 補助率 0 補助率	50 % 0 %	50, 904			
(9) 財源内訳 起債 一般財源	充当率	100 %	44, 200 11, 386	110 1	77, 900 6, 169	充当率	100 %	75,800 充当率	0 %	67, 900 2, 396			
その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益 □	□債務 □基金 □その		□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0, 103	□特会〔	□受益 □債務 □基金 □その他		受益 □債務 □基金 □その他	0.5			
(10) 人件費等			4, 840		4, 400			4, 400		4, 400			
臨時職員賃金額 事業費(予算(済)額+正職員人件費)			94, 274		0			0		125, 600			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		3, 928. 08千円/戸	04, 274	10, 670. 67千円/棟	100,000			110, 101		120, 000			
2. 事業の評価 (DO+CHEC	K)												
評価項目			事前	了評 価			事 後 評 価(評価結果に履	応じ、改善案検討(拡充も お	計 む))	改善検討			
	・入居者が、安全	で快適に暮らすため、	大規模改修及び耐	霞化は必要な事業である。		①事前確認での想定 ②事前確認での想定							
(1)事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性)							由/想定どおりでなかった原因>			O要 O不要			
必	(理由) ■法令等	N P O 、市民団体等で で市が実施することが		<その他の内容>		②市が主導で進めな	、市民団体等では実施できなかった ければ実効性がなかった	た <市実施の具体的な内容	字・必要性の理由>				
要	□提供主 □その他	体が市しかない				促進された	たことで市民へ普及が一層						
性 (2) 市が実施する必要性は あるか?		る市が推進すべきであ		<その他の内容>		⑤サービス水準が確							
(市実施の必要性)	□市が実	導で進めることにより 施・提供することによ		:=		⑦その他	給基盤が確保された			〇不要			
	口市が支	スが保証される 援することにより政策	策・施策の目標の		< -	その他の内容>							
	実現が □その他	図られる				中佐したない	B.O.B.						
	〇①事業計画時に	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容			働の具体的な内容(又は今後、 えられる場合にはその内容)	参加・ 〇①当初期待した以上	協働の程度・内容				
参加	〇②事業実施時に	こ市民の参画有り						○②当初期待したとお	にたとおり				
市民の参加や市民との協働を	○③管理・運営に ○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で	内な活動と連携してい	3						○③当初の期待以下 				
協働ののエ夫しているか?(体制づくり)	●⑥その他	・ナヘヒ大肥						→列目 ○に以上とはつ/	こ・ェロッカロダロでのフに原囚ノ	> 〇不要			
*	<その他の内容> 該当なし。			1									
	1			取組む内容		中作	した具体的な内容	,	環境への配慮				
		配序の担占		収担り内谷		夫他	こ、これでおりので1台	O①想定どおり	○①想定どおり				
	□①自然環境を生				l				_+.	1			
環境に配慮して事業を進めて	□②生き物と共存 □③手賀沼を意詞	生かしている 字している 載している						○②想定どおりでなか					
環境環境に配慮して事業を進めているか?	□②生き物と共存 □③手賀沼を意詞	生かしている 字している						<想定どおりでなかった		〇 要 〇 不要			
環境 環境に配慮して事業を進めているか?	□②生き物と共存 □③手賀沼を意記 □④環境負荷低派 ■⑤その他	きかしている テしている 載している 載に貢献している											
環境 環境に配慮して事業を進めて いるか? 配慮	□②生き物と共 □③手賀沼を意 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容〉 該当なし。	生かしている 字している 歳している 歳に貢献している		日標性の可以性ので			○○○□福庆读→	<想定どおりでなかった					
境環境に配慮して事業を進めているか?	□②生き物と共存 □③手賀沼を意記 □④環境負荷低派 ■⑤その他	きかしている テしている 載している 載に貢献している		目標値の妥当性のチェック タ・事実に基づき設定している	4	達成状況 空緒値(f)(%)	達成率(%)	<想定どおりでなかった		〇不要			
環境 環境に配慮して事業を進めているか? いるか? (1)目標設定は適切か?	□②生き物と共 □③手賀沼を意 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容〉 該当なし。	生かしている 字している 歳している 歳に貢献している	□②現況値と比べ □③現況値との差	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない		達成状》 建積値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)	<想定どおりでなかった	∠原因>				
境環境に配慮して事業を進めているか?	□②生き物と共在 □③手賀沼を意記□④環境負荷低加 ■⑤その他 <その他の内容>該当なし。 現況値(a)(%)	主かしている 穿している 厳している 或に貢献している	□②現況値と比べ □③現況値との差	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(と)		军績値 (f) (%)	達成率(%) (f/b×100) < 目標を達成した	<想定どおりでなかった 成 に理由/未達成となった原区	∠原因>	○ 不要○ の要			
境環境に配慮して事業を進めているか?	□②生き物と共在 □③手質沼を意記□④環境負荷低減■⑤その他 <その他の内容>該当なし。現況値(a)(%)	生かしている テしている 歳している 或に貢献している 目標値(b)(%)	□②現況値と比べ □③現況値との差 □④適当な比較対	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(と3 ある 実施予定の対策	見況値の差)と	空績値(f)(%) 実施状況	達成率(%) (f/b×100) (ef/b×100) <目標を達成した	<想定どおりでなかっす 成 た理由/未達成となった原区 未満 業費以内	∠原因>	○ 不要○ の要			
境 環境に配慮して事業を進めているか? にるか? (1)目標設定は適切か?	□②生き物と共在 □③手質沼を意記□④環境負価係 № ⑤ その他 <その他の内容>該当なし。 現況値(a)(%) 0 が策実施による事業費(c)(千円)	主かしている テしている 歳している 或に貢献している 目標値(b)(%) 100 よる事業費削減 事業費削減額(d) (千円)	□②現況値と比べ □③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(と ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PFI等民間資本 対応 □⑥受益者負担	見況値の差)と	宏績値(f)(%) 実施状況	達成率(%) (f/b×100) (f/b×100) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1		-原因> 引> 業費の削減対策について	○ 不要○ の要			
境 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか?	□②生き物と共在 □③手質沼を意記□④環境存低》 ■⑤その他の内容〉該当なし。 現況値(a)(%) 0 対策実施により 事業費(c)(千円)	主かしている テしている 歳している 或に貢献している 目標値(b)(%) 100 よる事業費削減額(d) (千円) △65,786	□②現況値と比べ □③現況値との差 □④適当な比較対 同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体制での	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(と ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PFI等民間資本 対応 □⑥受益者負担	見況値の差)と	空績値(f)(%) 実施状況	 達成率(%6) (f/b×100) (目標を達成した) ○①想定事業費 (○②概ね想定事業費 (○②概ね程定事業費 (○○概ね程定事業費 (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		- 原因 > 	○ 不要○ の要			
境 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか?	□②生き物と共在 □③手質没存低》 □③手質没存低》 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。 現況値(a)(%) 0 対策実施にる 事業費(c)(千円) 160,060 事業費前	主かしている テしている 歳している 歳している 。	□②現況値と比べ □③現況値と比め ■○④適当等の水準で □①国・県助成制 ■②銀有特里費の □④民間委託	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(と ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PFI等民間資本 対応 □⑥受益者負担	見況値の差)と	実施状況 養値 (g) (千円)	 達成率(%6) (f/b×100) (目標を達成した) ○①想定事業費 (○②概ね想定事業費 (○②概ね程定事業費 (○○概ね程定事業費 (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		-原因> 業費の削減対策について 想定どおり 想定どおりでなかった	○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要			
境 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? 効 率 (2)事業費削減の工夫をしているか?	□②生き物と共在 □③手質没存低》 □③手質没存低》 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。 現況値(a)(%) 0 対策実施にる 事業費(c)(千円) 160,060 事業費前	主かしている テしている 歳している 或に貢献している 目標値(b)(%) 100 よる事業費削減額(d) (千円) △65,786	□②現況値と比べ □③現況値と比め ■○④適当等の水準で □①国・県助成制 ■②銀有特里費の □④民間委託	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(と ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PFI等民間資本 対応 □⑥受益者負担	見況値の差)と	実施状況 養値 (g) (千円)	 達成率(%6) (f/b×100) (目標を達成した) ○①想定事業費 (○②概ね想定事業費 (○②概ね程定事業費 (○○概ね程定事業費 (○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○		-原因> 業費の削減対策について 想定どおり 想定どおりでなかった	○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要			
境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか?	□②生き物と共在 □③手質没存低》 □③手質没存低》 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。 現況値(a)(%) 0 対策実施にる 事業費(c)(千円) 160,060 事業費前	生かしている テしている 歳している 歳している 或に貢献している 100 100 100 本事業費削減 事業費削減額(d) (千円) △65,786 削減率(%) 59.78 目標値対事業費(e)	□②現況値と比べ □③現況値と比較 □④適当等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体智費の □④維計費委託 <削減の内容>	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(とま ある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P F I 等民間資本 対応 □⑥受益者負担 削減策の実施 □⑦その他	の活用 実	実施状/5 実施状/5 續値(g)(千円) 迢過理由等>	 達成率(%) (f/b×100) ○②目標値未達 <目標を達成した ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<想定どおりでなかった原因	-原因> 業費の削減対策について 想定どおり 想定どおりでなかった	○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要			
境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?	□②生き物と共在 □③手質没存低》 □③手質没存低》 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。 現況値(a)(%) 0 対策実施にる 事業費(c)(千円) 160,060 事業費前	生かしている 等している 歳している 歳している 同標値(b)(%) 100 100 よる事業費削減額(d)(千円) △65,786 削減率(%) 69.78 目標値対事業費(e)	□②現況値と比べ差 □③現況値と比較 □③現況値と数較 同等の水準で □①国・県助成制 ■②現有体管理 ②銀維持管委託 <削減の内容>	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(とま ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PFI等民間資本 対応 □⑥受益者負担 削減策の実施 □⑦その他	見況値の差)と の活用 実	実施状/5 実施状/5 續値(g)(千円) 迢過理由等>	達成率(%) (f/b×100) (f/b×100) < 目標を達成した		- 原因 > - 業費の削減対策について 想定どおり 想定どおりでなかった 削減できなかった原因 >	○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要			
境への配慮 は 環境に配慮して事業を進めて いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして いるか? (3)目標値を実現する為に 投じる事業費は適正か? (目標対費用)	□②生き物と共存 □③手質沼を意記 □④環境負荷低泌 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。 現況値(a)(%) 0 対策実施にる 事業費(c)(千円) 160,060 事業費間	生かしている テしている 歳している 歳している 。	□②現況値と比べ差別況値と比較型での場合のでは、 □③現況値と比較型でのでは、 □③国・県助成制 ■②現有体管理費の□④民間委託 <削減の内容>	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(とまある 実施予定の対策 度活用 □⑤ PFI等民間資本 対応 □⑥ 受益者負担 削減策の実施 □⑦ その他 計算方法 ●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業費	見況値の差)と の活用 実	実施状/5 実施状/5 績値(g)(千円) 選過理由等>	達成率(%) (f/b×100) ○②目標値未達 <目標を達成した と 対事業費(%) (g/c)×100 ○③想定事業費 ○②概ね想定事 ○③想定事業費 ○○3想定事業費 ○○回目標値以上 ○②目標値以上 ○②目標値は同じ ○○2目標値は同じ ○○回目標値は同じ ○○2目標値は同じ ○○回目標値は同じ ○○3 ○○回り		- 原因 > - 業費の削減対策について 想定どおり 想定どおりでなかった 削減できなかった原因 >	○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不要 ○ 不不要			
境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (目標対費用)	□②生き物と共名 □③手質沼を徳が ■⑤その他 《その他の内容》 該当なし。 現況値(a)(%6) の 対策実施に 事業費(c)(千円) 160,060 事業費育	生かしている 等している 歳している 歳している 同標値(b)(%) 100 100 よる事業費削減額(d) (千円) △65,786 削減率(%) 69.78 目標値対事業費(e)	□②現況値と比べ □③現況値と比べ □③現況値と比較準 □①国・県助成制 ■②現有特智費の □④民間委託 <削減の内容>	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(とま ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PFI等民間資本 対応 □⑥受益者負担 削減策の実施 □⑦その他 計算方法 ●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標:(目標値 - 現況値)×費用	現況値の差)と の活用 実施を表現して、実施を表現して、実施を表現して、実施を表現して、実施を表現して、実施を表現して、また。	実施状/5 実施状/5 績値(g)(千円) 選過理由等>	達成率(%) (f/b×100) ○②目標値未達 <目標を達成した と 対事業費(%) (g/c)×100 ○③想定事業費 ○②概ね想定事 ○③想定事業費 ○○3想定事業費 ○○回目標値以上 ○②目標値以上 ○②目標値は同じ ○○2目標値は同じ ○○回目標値は同じ ○○2目標値は同じ ○○回目標値は同じ ○○3 ○○回り		- 原因 > - 業費の削減対策について 想定どおり 想定どおりでなかった 削減できなかった原因 >	○ 不要 ○ 要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要			
境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (目標対費用)	□②生き物と共名 □③手質沼を徳が ■⑤その他 《その他の内容》 該当なし。 現況値(a)(%6) の 対策実施に 事業費(c)(千円) 160,060 事業費育	生かしている 等している 歳している 歳している はている はている はている はです はでする はでする はでする はでする はでする	□②現況値と比べ □③現況値と比べ □③現況値と比較準 □①国・県助成制 ■②現有特智費の □④民間委託 <削減の内容>	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(とまある 実施予定の対策 度活用 □⑤ PFI等民間資本 対応 □⑥ 受益者負担 削減策の実施 □⑦ その他 計算方法 ●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業費	現況値の差)と の活用 実施を表現して、実施を表現して、実施を表現して、実施を表現して、実施を表現して、実施を表現して、また。	実施状/5 実施状/5 績値(g)(千円) 選過理由等>	達成率(%6) (f/b×100)		- 原因 > - 業費の削減対策について 想定どおり 想定どおりでなかった 削減できなかった原因 >	○ 不要 ○ 要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要			
境への配慮 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か? (目標対費用)	□②生き物と共名 □③手質沼を徳が ■⑤その他 《その他の内容》 該当なし。 現況値(a)(%6) の 対策実施に 事業費(c)(千円) 160,060 事業費育	生かしている 等している 歳している 歳している はている はている はている はです はでする はでする はでする はでする はでする	□②現況値と比べ □③現況値と比べ □③現況値ととの差対 □○第年 □①国・県助成制 ■②現4持管委託 <削減の内容> 費用単位 10万円	タ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例における目標値(とま ある 実施予定の対策 度活用 □⑤PFI等民間資本 対応 □⑥受益者負担 削減策の実施 □⑦その他 計算方法 ●①単年度の指標:目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標:(目標値 - 現況値)×費用	現況値の差)と の活用 実施を表現して、実施を表現して、実施を表現して、実施を表現して、実施を表現して、実施を表現して、また。	実施状/5 実施状/5 績値(g)(千円) 選過理由等>	達成率(%6) (f/b×100)		- 原因 > - 業費の削減対策について 想定どおり 想定どおりでなかった 削減できなかった原因 >	○ 不要 ○ 要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要			

事務事業評価表(平成29年度)

事業コ-	- F	1838		ii.	課コード	0703	会計種	別一般会計			予算の	種類 ■	政策	■経常	□なし
1. 事第	Eの概要(PLAN)														
		①事業名	基本事業				実施計画への		〇有 〇無		②部課名 都市部・建築住宅課				
		③事業主体			助事業(震災対	応)	»)				□湖北	□新木	□布佐	■全市	
(1)事業概要	Ę	⑤事業期間			平成2	7年度 ~ 平成33年度		⑥担当職員数			6 人				
		⑦事業費 (人件費含む)	総事業費			13,842 千円	当該(開始)年	当該(開始)年度 (当 初) (変更後) 基本計画地区別計画への位置づけ			13.842 千円 (うち人件費 5,720 千円) 千円 (うち人件費 千円) 部門別計画への 位置づけ (計画名)				
		⑧施策の位置づけ	施策コード		64002	重点プロジェクト への位置づけ									
		施策目的・	住生活に対す					を充実 東日本大震災により被害を受けた建築物等の再建支援(再建資金利子補給、県外						県外被災世帯応	急仮設住宅、液
(2)目的		展開方向	者や障害者の	つためのバリ	リアフリー化な	住宅リフォーム、液状化被害を受けた住宅等の どに対する支援を進めます。また、市内への気 宅に被害を受けた市民がその住宅の再建を行っ	住化を進めるため	こと				约 . 9~2 日			
(3) 事業内和	F-1	内容	を借り入れた ②東日本大震 宅を提供する	と場合にその 優災によりネ る。	の利子の一部に 福島県の被災者	そに被告を受けた。 対して補助を行う。 に対して災害教助法に基づく応急仮設住宅とし けた市民が、液状化対策を講じた場合に補助会	賃貸住 当該年度 執行計画	・利子補給 ・液状化対 ・その他随	 ・応急仮設住宅→家賃支払:毎月 賃貸借契約:2~3月 ・利子補給→実績報告受付及び補給を支払:1²月 県補助金申請及び実績報告:2² ・液状化対策工事補助金→申請受付、審査決定(確定)、補助金支払:随時 ・その他随時→HP掲載、申請者への通知等 平成27年度実績					I at	
								当該年度 活動結果指植	補助由詩件	数(利子補給14件.	件 表積値	31			
	票(期待する成果) 始)年度	被災者の生活支援	を行なう。		達成目	標(期待する成果)	指標種類直接	補助申請件		指標		単位件	(5) 現況値	(6)目標値 31	
3年後	如/ 牛皮						旦 位 位						0		
最終(概	 ね5年後)						_						0	30	
(7)事業実施	 医上の課題と対応					リ、平成28年度で指定区域外からの避難者(3t 。利子補給については、新規の受付が終了とな				○有 ●無					
	実施上の課題と対応 。 新たび支援策か果から提示された場合は慎重に対応する で事業終了となる見込である。 液状化対策補助金は、被害 平成28年度								平成30年度		$\overline{\Box}$	平成:	3 1 年度		
		政策	内 容		金額(千円)	政 内 容	金額(千円)	実績値(千円) 政策	内	容	金額(千円)	政策	内 容		金額(千円)
		(震災対応)	300円×12ヶ月×14件 723			被災者住宅再建資金利子補給 4,037円×12ヶ月×14件	679		,037円×12ヶ月	住宅再建資金利子補給 7円×12ヶ月×14件			<12ヶ月×14f	件	679
						(県補助対象 50%)			(国補助対象 (県補助対象				助対象 19 助対象 509		
		県外被災者世帯 (震災対応)	萨氏間質資任モ 伯	仲介于贺料	174	県外被災者世帯民間賃貸住宅仲介手数料 2世帯分	63		ト被災者世帯民間 世帯分	賃貸住宅仲介手数	料 63	3 県外被災者 2世帯分	世帯民間賃貸	住宅仲介手数料	63 1, 380
(a) ++ (= +-	実施内容	県外被災者世帯 (震災対応)	帯民間賃貸住宅	借上料	3, 852		1, 380	県タ	上帝刀 卜被災者世帯民間 世帯分	賃貸住宅借上料	1, 380		世帯民間賃貸	住宅借上料	
(8)施行事」	費用	* 液状化対策補助	功金		15, 000	* 液状化対策補助金	6, 000	* 液物	犬化対策補助金		6, 000) * 液状化対策			
			液状化対策補助金 15,000 (震災対応) 500,000円×30件			500, 000円×12件	500,000円×12件			500,000円×12件				6, 000	
	予算(済)額 国庫支出金	: 	<u>計</u> 10	00 %	19, 749 4, 026		8, 122	補助	<u>合</u>	計 1 %	8, 12	: 2 6 補助率	合 計	1 %	8, 122
(9) 財源内語	県支出金起債	補助率 充当率	5	0 % 0 %	361 0	補助率 50 % 充当率 0 %	339 0	補助充当	率	50 % 0 %	339	9 補助率 0 充当率		50 % 0 %	339 0
(9) 87 //8 (9)	その他の財源	□特会 □受益 □	□債務 ■基金	口その他	362 15, 000	□特会 □受益 □債務 ■基金 □その他	□特金	会 □受益 □債務	■基金 □その他		□特会 □受	益 □債務 ■	基金 □その他	1, 777 6, 000	
(10) 人件費	換算人数(人) 正職員人件費 嘱託職員報酬額				0. 65 5, 720 0					0. 69 5, 720				0. 65 5, 720 0	
事業費(予算	臨時職員賃金額				200 25, 469		0 0 13,842				13, 84)			0 13, 842
(11)単位費 (事業)						446. 52千円/件	·								
(チネ)	1/ / 山坳和木阳保/														
	で で で で で で で で に の に る に の に る に る に る に る に る に る に る に る に る に に に に に に に に に に に に に)													
			こ発生した東北:	地方太平洋		」 前 評 価 与ら所有し、居住していた住宅が被害を受けた	被災者に対して	○①事前確認での想		評価(評価結果	に応じ、改善案	検討(拡充も含む))		改善検討
2. 事第	で評価 (DO+CHECK		こ発生した東北:	地方太平洋		1 前 評 価 自ら所有し、居住していた住宅が被害を受けた	被災者に対して	○①事前確認でのを ○②事前確認でのを <想定どおりとした	想定どおり 想定どおりでなか	った		検討(拡充も含む))		改善検討 〇要 〇不要
2. 事第	を の評価 (D0+CHECK 評価項目	平成23年3月11日15支援を行う。 〇①民間企業、N (理由) □法令等	N P O 、市民団 で市が実施する	体等では実 ることが定む	t沖地震によりE		被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NF □②市が主導で進る	限定どおり 限定どおりでなか 理由/想定どお PO、市民団体等 かなければ実効性	った りでなかった原因> では実施できなか がなかった	>	検討(拡充も含む の具体的な内容・		1>	O要
2. 事第	を の評価 (D0+CHECK 評価項目	平成23年3月11日15支援を行う。 〇①民間企業、N (理由) □法令等	N P O 、市民団 [・] で市が実施する 体が市しかない	体等では実 ることが定む	t沖地震によりE	自ら所有し、居住していた住宅が被害を受けた	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NF □②市が主導で進と 促進された	思定どおり 想定どおりでなか 理由/想定どお つの、市民団体 かなければ実の かなったことで市民	った りでなかった原因〉 では実施できなか がなかった へ普及が一層	>			1>	O要
2. 事事 (1)事事 背 が 要 性 (2)市が あ	学の評価 (DO+CHECK 評価項目 となっ必要である理由・ とは?(事業の必要性)	平成23年3月11日に支援を行う。 ○①民間企業、N (理由) □法令等 □提供主 □その他	NPO、市民団 で市が実施する 体が市しかない る市が推進すべ	体等では実 ることが定る い きである	E沖地震によりE B施できない められている	自ら所有し、居住していた住宅が被害を受けた <その他の内容> <その他の内容>	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NF □②市が主導で進め □③市が先導役とが 促進された。 □④市の支援が政党 □⑤サービス水準が	限定どおり 限定どおりでなか 理由/想定どお 〇〇、市民団気効け たなければと変で しなったこと 目標の が確保された	った りでなかった原因> では実施できなか がなかった へ普及が一層 実現に貢献した	>			1>	○要 ○不要
2. 事事 (1)事事 背 が 要 性 (2)市が あ	評価 (DO+CHECK 評価項目 と と と と と と と と と と と で あ る 理由・ と は ? (事 来 の 必 要 性 り と り と り く り く り く り く り く り く り く り く	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間企業、N (理由) □法令等 □足の他 ●②自治体である (理由) □市が実	NPO、市民団 で市が実施する 体が市しかない 5市が推進すべ 導で進めること	体等では実 ることが定る い きである とにより実好 ことにより、	E沖地震によりE B施できない められている	自ら所有し、居住していた住宅が被害を受けた <その他の内容> <その他の内容>	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NF □②市が主導で進め 促進された □④市の支援が政策	限定どおり 限定どおりでなか 理由/想定どお 〇〇、市民団気効け たなければと変で しなったこと 目標の が確保された	った りでなかった原因> では実施できなか がなかった へ普及が一層 実現に貢献した	>			i>	〇要
2. 事事 (1)事事 背 が 要 性 (2)市が あ	学の評価 (DO+CHECK 評価項目 となっ必要である理由・ とは?(事業の必要性)	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間企業、等 □程由 □ □ □ □ □ □ □ □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	NPO、市民団で で市が実施するい で市が市しかない ち事が推進すこと で提供さことこ で提供される ながほこと で で ながないこと	体等では実 ることが定る い きである とにより、 ことにより、 る	E沖地震によりE 関値できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	自ら所有し、居住していた住宅が被害を受けた <その他の内容> <その他の内容>	被災者に対して	○②事前確認での数 <想定どおりとした □①民間企業、NF □②市が主導で後とな 促進された □④市の支援が政策 □⑤サービス水準太 □⑥サービスの安定 □⑦その他	限定どおり 限定どおりでなか 理由/想定どお 〇〇、市民団気効け たなければと変で しなったこと 目標の が確保された	った りでなかった原因> では実施できなか がなかった へ普及が一層 実現に貢献した	>			3>	○要 ○不要
2. 事事 (1)事事 背 が 要 性 (2)市が あ	学の評価 (DO+CHECK 評価項目 となっ必要である理由・ とは?(事業の必要性)	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間企業、ト (理由) □法令等 □提供主 □ その他 ●②自治体でがる (理由) □市が □ 市が ■市がす	NPO、市民団で で市が実施するい で市が市しかない ち事が推進すこと で提供さことこ で提供される ながほこと で で ながないこと	体等では実 ることが定る さいた きである とにより実 ことにより、 る もの策・前	E沖地震によりE 関値できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	自ら所有し、居住していた住宅が被害を受けた <その他の内容> <その他の内容>	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NF □②市が先導でとき 促進された。 □④市の支援が設 □⑤サービスの安気 □③サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	限定どおり 限定どおりでなか 理由 / 想定どお の へければと の かなったこ 後・施策のわた を体験されば を が確保を基盤が確保 協働の具体的な	った りでなかった原因> では実施できなか がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された	>	の具体的な内容・			〇要 〇不要
2. 事事 (1)事事 背 必 要 性 (2)市あ (市	学の評価 (DO+CHECK 評価項目 となっ必要である理由・ とは?(事業の必要性)	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間企業、等 □程由 □ □ □ □ □ □ □ □ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	NPO、市民団を で市が実しかない。 で本が本ででは、 も導施なけずことこでを を が保るこる ・協画有 参加・参画 を かのである。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	体等では実 ることが定 きである とによりによ とによる より政策・ f の内容	E沖地震によりE 関値できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	自ら所有し、居住していた住宅が被害を受けた <その他の内容> <その他の内容> た	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NF □②市が先導でとき 促進された。 □④市の支援が設 □⑤サービスの安気 □③サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	思定どおり 限定どおりでなか 理由/想定どお 〇〇、市民団体 のなければまで市 はったこと 目標の 後・施策の目標の が確保された 定供給基盤が確保	った りでなかった原因> では実施できなか がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された	った <市実施	の具体的な内容・	必要性の理由		〇要 〇不要
2. 事事 (1) 事事 背 必 要 性 (2) 市市 あ (市	で 評価 (DO+CHECK 評価項目 業が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は たか? 実施の必要性)	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間企業、下等 □程を行う。 ○①民間企業、下等 □提その他 ●②自治体市がが ■市がが □である。 「理由) □市・ボッ・ボッ・ボッ・ボッ・ボッ・ボッ・ボッ・ボッ・ボッ・ボッ・ボッ・ボッ・ボッ・	NPOが体がでは、 で体がが進提供の お導施スがすられて お導施スがすられて を参数を を表している。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のできる。 のでは、 のできる。 のできる。 のできる。 のでは、 のできる。 のできる。 のでは、 のできる。 のでは、 のできる。 のでは、	体等では実をあることがである実の、きにことによいは、 の内容 りりりり	E沖地震によりE 関値できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	自ら所有し、居住していた住宅が被害を受けた <その他の内容> <その他の内容> た	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NF □②市が先導でとき 促進された。 □④市の支援が設 □⑤サービスの安気 □③サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	限定どおり 限定どおりでなか 理由 / 想定どお の へければと の かなったこ 後・施策のわた を体験されば を が確保を基盤が確保 協働の具体的な	った りでなかった原因> では実施できなか がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された	った <市実施 〇①当初 〇②当初 〇③当初	の具体的な内容・ 参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下	必要性の理由	容	〇要 〇不要 〇不要
2. 事事 (1) 事事 背 必 要 性 (2) 市市 あ (市	で (DO+CHECK 評価項目 評価項目 業が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は 6か? 実施の必要性)	平成23年3月11日15 支援を行う。 ○①民間企業、「等 に	NPOが体がでは、 で体がが進提供の お導施スがすられて お導施スがすられて を参数を を表している。 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のできる。 のでは、 のできる。 のできる。 のできる。 のでは、 のできる。 のできる。 のでは、 のできる。 のでは、 のできる。 のでは、	体等では実をあることがである実の、きにことによいは、 の内容 りりりり	E沖地震によりE 関値できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	自ら所有し、居住していた住宅が被害を受けた <その他の内容> <その他の内容> た	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NF □②市が先導でとき 促進された。 □④市の支援が設 □⑤サービスの安気 □③サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ○・サービスの安気 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	限定どおり 限定どおりでなか 理由 / 想定どお の へければと の かなったこ 後・施策のわた を体験されば を が確保を基盤が確保 協働の具体的な	った りでなかった原因> では実施できなか がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された	った <市実施 〇①当初 〇②当初 〇③当初	の具体的な内容・ 参加・協 可期待した以上 可期待したとおり	必要性の理由	容	〇要 〇不要 〇不要
2. 事事 (1) 事事 背 め 要 性 (2) 市あ (市 市工 の し	使の評価 (DO+CHECK 評価項目 禁が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は たか? 実施の必要性)	平成23年3月11日に支援を行う。 ○①民間企業へ等・ □程の □ は法快ま・ □提表の □ は表情の でがまま・ □を持たの でがまま・ □を表情の でがままります。 では、	NPO ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	体等では実をあることがである実の、きにことによいは、 の内容 りりりり	E沖地震によりE 関値できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	自ら所有し、居住していた住宅が被害を受けた <その他の内容> <その他の内容> た	被災者に対して	○②事前確認での想定を表す。 「①民間企業、NF 「②市が先導なとない。 「②市が先導なとない。「②市が先導なとない。」 「③市の・ビス水準が、「③・サー・ビスの安」 「②・サー・ビスの安」 「②・サー・ビスの安」 「②・その他の内容〉	限定どおり 限定どおりでなか 理由 / 想定どお の へければと の かなったこ 後・施策のわた を体験されば を が確保を基盤が確保 協働の具体的な	った りでなかった原因> では実施できなか がなかった へ普及が一層 実現に貢献した された	った <市実施 〇①当初 〇②当初 〇③当初	の具体的な内容・ 参加・協 期待した以上 期待したとおり の期待以下	必要性の理由	容	〇要 〇不要 〇不要
2. 事事 (1) 事事 背 必 要 性 (2) 市市 あ (市	使の評価 (DO+CHECK 評価項目 禁が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は たか? 実施の必要性)	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間 企業令 に理由 □ は で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	NPO ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	体等では実をある。というでは、またの内 りりりしている の りりりしている	E沖地震によりE 関値できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	自ら所有し、居住していた住宅が被害を受けた <その他の内容> <その他の内容> た	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NE □②市が先導作とも 促進さ場が改進が □③市の世にスの安置 □③サービスの安置 ○③サービスの安置 ○③・サービスの安置 ○③・サービスの由 ○○・サービスの由 ○○・大の他の内容〉	限定どおり 限定どおりでなか 理由 一想でとおりでなか でしています。 でしています。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	りでなかった原因> では実施できなかがなかった 今 実現に貢献した された 内容(又は今後、にはその内容)	った <市実施 〇①当初 〇②当初 〇③当初	の具体的な内容・参加・協 別期待した以上 期待したとおり の期待以下 た以上となった理	必要性の理由	容	〇要 〇不要 〇不要
2. 事事 (1)事事 (2)市ある (市ある)市 (本力・協働のH表)	使の評価 (DO+CHECK 評価項目 禁が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は たか? 実施の必要性)	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間 企業令 に理由 □ は で が で が で が で が で が で が で が で が で が で	NP Oがました。 ・実施ないで体がが進提解のでは、実施ながすことでは、実施なができないが、実施なができないが、できませい。 ・変を参と実施をして、これでする。 ・変を参と実施をして、これでする。 ・変を変と実施をして、これでする。 ・変を変と、変ををといる。 ・変を変と、変をして、これでする。 ・では、変をが、とこるでは、動動有有有携にない。 ・では、変をが、とこるでは、動動でする。 ・では、変をが、とこるでは、変をが、できませい。 ・では、変をが、できませい。 ・では、変をが、できませい。 ・では、変をが、とこるでは、変をが、できませい。 ・では、変をが、できませい。 ・では、変をが、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できませい。 ・では、できまませい。 ・では、できまませい。 ・では、できままままままままままままままままままままままままままままままままままま	体等では実をある。というでは、またの内 りりりしている の りりりしている	E沖地震によりE 関値できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容> <その他の内容>	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NE □②市が先導作とも 促進さ場が改進が □③市の世にスの安置 □③サービスの安置 ○③サービスの安置 ○③・サービスの安置 ○③・サービスの由 ○○・サービスの由 ○○・大の他の内容〉	限定どおり 限定どおりでなか 理由 / 想定どお の へければと の かなったこ 後・施策のわた を体験されば を が確保を基盤が確保 協働の具体的な	りでなかった原因> では実施できなかがなかった 今 実現に貢献した された 内容(又は今後、にはその内容)	った <市実施 〇①当初の〇②当初 ○	の具体的な内容・参加・協 列期待した以上 別の期待したとおり の期待以下 た以上となった理 環境	必要性の理由 動の程度・内 由/期待以下	容	〇要 〇不要 〇不要
2. 事事 (1)事事 (2)市ある (市ある)市 (本力・協働のH表)	はの評価(DO+CHECK 評価項目 評価項目 業が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は 5か? 実施の必要性)	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間企業令方。 ○①民間企業令等主 (理由) □位素 (型金) (型金) (型金) (型金) (型金) (型金) (型金) (型金)	P P O が すい で 体 O も	体5・ きにともり のりりりしている実り、 かっちい な寒	E沖地震によりE 関値できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容> <その他の内容>	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NE □②市が先導作とも 促進さ場が充った。 □③市の世にスの安置 □③サービスの安置 ○③サービスの安置 ○③・サービスの安置 ○○・サービスの由 ○○・大の他の内容〉	限定どおり 限定どおりでなか 理由 一想でとおりでなか でしています。 でしています。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	りでなかった原因> では実施できなかがなかった 今 実現に貢献した された 内容(又は今後、にはその内容)	った <市実施 O①当初 O②当初 <期待し O①想及 O②割え	の具体的な内容・参加・協 別期待した以上 期待したとおり の期待以下 た以上となった理 環境	必要性の理由 動の程度・内 由/期待以下	容	〇要 〇不要 〇不要
2. 事事 (1)事事 (2)市ある (市ある)市 (本力・協働のH表)	はの評価(DO+CHECK 評価項目 評価項目 業が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は 5か? 実施の必要性)	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間□は表行う。 ○①民間□は上のでは、「等主性ののあままででは、「できませんののでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できませんのでは、「できません。」 ○②事業業生のと、「できません。」 「○②事業業のと、「できません。」 「○③事業ませんのでは、「できません。」 「○③事業は、「できません。」 「○○○のは、「○○○のは、「○○○○のは、「○○○○○○○○○○○○○○○○○	P P で体 も市が直提保るれ を を を を を を を を を を を を を	体5・ きにともり のりりりしている実り、 かっちい な寒	E沖地震によりE 関値できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容> <その他の内容>	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NE □②市が先導作とも 促進さ場が充った。 □③市の世にスの安置 □③サービスの安置 ○③サービスの安置 ○③・サービスの安置 ○○・サービスの由 ○○・大の他の内容〉	限定どおり 限定どおりでなか 理由 一想でとおりでなか でしています。 でしています。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	りでなかった原因> では実施できなかがなかった 今 実現に貢献した された 内容(又は今後、にはその内容)	った <市実施 O①当初 O②当初 <期待し O①想及 O②割え	の具体的な内容・ 参加・協 別期待した以上 期待したとおり の期待以下 た以上となった理 環境 どおりでなかった	必要性の理由 動の程度・内 由/期待以下	容	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要
② 要性 参加・協働の工夫 環境へ のし 場 環境 で	はの評価 (DO+CHECK 評価項目 評価項目 業が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は 5か? 実施の必要性)	平成23年3月11日に支援を行う。 ○①民間□全案へ等主法提供の他の内容> ○②事業はの自治に対している。 ○②事業を通過である。 ○②事業を通過である。 ○③管市民の他の内容> ○③信託の他の内容> ○③信託の他の内容> ○③環境とき意復。 ○③環境と表意低。	P P で体 も市が直提保るれ を を を を を を を を を を を を を	体5・ きにともり のりりりしている実り、 かっちい な寒	E沖地震によりE 関値できない められている 効性が得られる 、良質で安定し	<その他の内容> <その他の内容>	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NE □②市が先導作とも 促進さ場が充った。 □③市の世にスの安置 □③サービスの安置 ○③サービスの安置 ○③・サービスの安置 ○○・サービスの由 ○○・大の他の内容〉	限定どおり 限定どおりでなか 理由 一想でとおりでなか でしています。 でしています。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	りでなかった原因> では実施できなかがなかった 今 実現に貢献した された 内容(又は今後、にはその内容)	った <市実施 O①当初 O②当初 <期待し O①想及 O②割え	の具体的な内容・ 参加・協 別期待した以上 期待したとおり の期待以下 た以上となった理 環境 どおりでなかった	必要性の理由 動の程度・内 由/期待以下	容	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○
2. 事事 (1)事事 (2)市ある (市ある)市 (本力・協働のH表)	はの評価 (DO+CHECK 評価項目 評価項目 業が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は 5か? 実施の必要性)	平成23年3月11日に支援を行う。 ○①民間□公業令等主 □□公法提供の他の名法提供の他の内容とのである主 □□公事業計画施営主 □□公事で民民他 ○②事管は民と他 ○○の事では、一のとのでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	P P で体 も市が直提保るれ を を を を を を を を を を を を を	体等では実も ちい きにとと 政 か	E 沖地震により E 施できない められている 効性が得られる 、良質で 極策の目標の	日も所有し、居住していた住宅が被害を受けた <その他の内容>	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NE □②市が先導作とも 促進さ場が充った。 □③市の世にスの安置 □③サービスの安置 ○③サービスの安置 ○③・サービスの安置 ○○・サービスの由 ○○・大の他の内容〉	思定どおり 思定とどおりでという。 思定とどおりでという。 のの、けたでは、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部	のた りでなかった原因> では実施できなかがなかった 一度では実施できなかがった 実現に貢献した された 内容(又は今後、 にはその内容)	った <市実施 〇①当 当 1 1 1 1 1 1 1 1	の具体的な内容・ 参加・協 別期待した以上 期待したとおり の期待以下 た以上となった理 環境 どおりでなかった	必要性の理由 動の程度・内 由/期待以下	容	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○
2. 事事 (1) 事事 (2) 市あ(市 市工(体 環い (2) 市あ(市 市工(体 境(る) (1) 事情 (2) 市あ(市 市工(体 環境への配慮	はの評価 (DO+CHECK 評価項目 評価項目 業が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は 5か? 実施の必要性)	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間□企業へ等 に理由□□は上ででが、「等等には、では、上ででは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	P O が 本 O 市が 推進め供証さい で 体 O 市が市 市 が 推進の 供 T o C o A に に し で 体 O 市が 市 で 進提保 o A か と っ を 多 参 と 実 を は い o る o で と こ に こ 市 市 な ま を ま に し て い い は 値 値 し い い は 値 値 し の は で と で と で と で と で と で と で と ま で と で と で	体 等 と が は 定 を も こ と と か は り り り り し し で よ に と な 策 り い か 容 し い も る ま り い か る も し こ と し か れ る も も の も り り り し て い る も も も も も も も も も も も も も も も も も も	産神地震により目標施できない。 対性ができないる 対性ができないる 対性が質では、 を策の目標の できない。 「②現況・ 「②で現況・ 「②で表現の値と 「③で表現の値と 「③で表現の使と 「③で表現の使と 「③で表現の使と 「③で表現の使と 「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	日標値の妥当性のチェック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	被災者に対して	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業・選を受とす。 「②市が先導役とす。 「選・市の・ビスの安定」で、サービスの安定 「③サービスのの内容」 「実施した参加・協働が	思定どおり 思定とどおりでという。 思定とどおりでという。 思定というでは、またでは、 このでは、このでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	つた リでなかった原因> いでは実施できなかがなかった 層 実現に貢献した された 内容(又は今後、 にはその内容) 内容 〇①目標標値未	つた	の具体的な内容・ 参加・協 別期待した以上 期待したとおり の期待以下 た以上となった理 環境 どおりでなかった	必要性の理由 動の程度・内 由/期待以下 をへの配慮 こ 因>	容	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事事 (1) 事事 (2) 市あ(市 市工(体 環い (2) 市あ(市 市工(体 境(る) (1) 事情 (2) 市あ(市 市工(体 環境への配慮	はの評価(DO+CHECK 評価項目 評価項目 能が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は たか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? ごくり)	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間口流へである主義である主義である主義である主義である主義である主義である主義である主義	P O が が が 進 B O A C A C A C A C A C A C A C A C A C A	体等とが ない きにこと か の りりりし で	E沖地震によりE Rin できない められている 効性が質で 標の を観現況値をとと C 2 (②(3)現況できなとと アーベき	日を所有し、居住していた住宅が被害を受けた 《その他の内容》 《その他の内容》 大た 工夫の具体的な内容 取組む内容 取組む内容 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業・選を受とる ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	限定どおり 限定とおりでなか 理由 / 想定ととおりでなか 市ればと の へけた に 無では 無で に 無で は 無で は かなった 施保 を は 整 と を が に 供 体 物 で は か に 本 で は 本 で は 本 で は か は で は か は で は か は で は か は で は か は で は か は で は か は で は か は で は か は で は か は で は か は な は か は で は か は な は か は な は か は な は か は な は か は な は な	つた リでなかった原因> いでは実施できなかがなかった 層 実現に貢献した された 内容(又は今後、 にはその内容) 内容 〇①目標標値未	つた	の具体的な内容・参加・協 動期待したとおりの期待したとおり の期ととなった理 ながった以上となった理 なおりでなかった原	必要性の理由 動の程度・内 由/期待以下 をへの配慮 こ 因>	容	○要 ○不要 ○○不要 ○○不要 ○○不要 ○○不要 ○○不要 ○○不要
2. 事事 (1) 事事 (2) 市あ(市 市工(体 環い (2) 市あ(市 市工(体 境(る) (1) 事情 (2) 市あ(市 市工(体 環境への配慮	はの評価(DO+CHECK 評価項目 評価項目 能が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は たか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? ごくり)	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間□公素令 (理由□□公法(供の ●②自治□□中・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P で体 も 市が進提保る か で 体 も 市が進提保る か ・ 参 参 参と 実 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	体5 × きにとより のりりりして 1点 る (件) ■□□□□	正神地震により目標施できない。 「他のできない。 「他のできない。 「他のできない。 「他のできない。」 「他のできない。 「他のできない。 「他のできない。」 「他のできないい。」 「他のできないい。」 「他のできない。」 「他のできない。」 「他のできない。」 「他のできない。」 「他のできない。」 「他のできない。」 「他のできない。	日 長住していた住宅が被害を受けた	現況値の差)と	○②事前確認での想定とした □①民間企業・選定とおりとした □②市が生導でとと 「のではされた」 □③市が生みれた。 □③市が生みれた。 □③・サービスのでは ○○・サービスのでは ○・サービスのの内容 ○ 「変がした。	限定どおりでという。 では、	つた リでなかった原因> 「では実施できなかがら 実現に貢献した。 された 内容をその内容 〇①②目標標値値未 <目標を達取表現の ○②②根板ねを ○○②を表現した。 ○○③を表現した。 ○○○③を表現した。 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	った	の具体的な内容・参加・協 別期待したとおりの期待しないという。 に以上となった理 ほどおりでなかった おりでなかった原 なとなった原因> 事業	必要性の理由 動の程度・内 由/期待以下 をへの配慮 こ 因>	容であった原因>	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事事 (1) 事事 (2) あん市 (2) 市あん市 市工(体 環い (1) 事情 市のしま (3) の記慮 (4) の記慮 (5) の記慮	はの評価 (DO+CHECK 評価項目 業が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は ちか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? うくり)	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間□公業へ等 に理由□□公法提供の他 ・ (理由□□□公共では、であ にでは、であ には、であ には、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	Pで体 る 市が推進の大きな で 本 で 本 で 本 で 本 で 本 で 本 で 本 で 本 で 本 で	体5・ きにともり 内 りりりしている る実り、 f を5 にともり 内 りりりしている る実り、 f の し	により目標を表現している。 「できないる。 ないいる。 のは、	日の所有し、居住していた住宅が被害を受けた 《その他の内容》 《その他の内容》 大た 工夫の具体的な内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 はないがいさい値ではないが小さい値ではないがからでしている。 実現性が乏しい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからの値ではないがある場合、比較対象例における目標値(ときある 実施予定の対策 『度活用 □⑤ PF I等民間資	現況値の差)と	○②事前確認での想 <想定どおりとした □①民間企業、NE □②市が先導でとれた 収進支援が始された □③市が完みれた □③・サー・ビス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	限定どおりのではおりでという。 理由 一想でというできた。 では、 市ればと ののでは、 市ればと ののでは、 市ればと ののでは、 一般では、 一般で	のた。 りでなかった原因> では実施できなかがへきなかがへき及い。 では実施できなかがへきるかが、 では実施できなかがへきるか。 では実施できなかがへきるか。 では実施できなかがへきるか。 では実施できなかがへきるか。 では実施できなかがへきるか。 (又は今容)	った	の具体的な内容・参加・協 期期待したとおり したたとおりの期待しない た以上となった理 ほどおりでなかった原 まとどおりでなかった原因〉	必要性の理由 動の程度・内 由/期待以下 をへの配慮 に 因>	容 であった原因 >	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事事 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 対象 (2) (2) 事い	はの評価(DO+CHECK 評価項目 評価項目 能が今必要である理由・ 能は?(事業の必要性) が実施する必要性は たか? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ているか? ごくり)	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間□□な法(株の あま実 を	P で体	体5・ きにとらり 内 りりりし	注: 中地震により目標 できない ない できない ない できない ない できない ない できない でき	日の所有し、居住していた住宅が被害を受けた 《その他の内容》 《その他の内容》 本大の具体的な内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 ・実現性が乏しい値ではない ・実現性が乏しい値ではない ・食が小さい値ではない ・食が有る場合、比較対象例における目標値(ときある 実施予定の対策 ・関度活用 ・対応 ・回⑤ PF I 等民間資 ・対応 ・回⑥受益者負担 ・削減策の実施 ・回⑦その他	現況値の差)と	○②事前確認での想定とした □①民間企業・選定とおりとした □②市が生導でとと 「のではされた」 □③市が生みれた。 □③市が生みれた。 □③・サービスのでは ○○・サービスのでは ○・サービスのの内容 ○ 「変がした。	限定どおり 限定とおりでなか 理由 / 想定ととおっています。 のいけたとの目にでは、 のいけたにでは、 がに供給基盤が確保 はあったがには、 がには、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	つた リでなかった原因> 「では実施できなかがら 実現に貢献した。 された 内容をその内容 〇①②目標標値値未 <目標を達取表現の ○②②根板ねを ○○②を表現した。 ○○③を表現した。 ○○○③を表現した。 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	った	の具体的な内容・ 参加・協 D期待したとないたと はたととなった理 環境とどおりでなかった原 或となった原因> 事業 ○①事前の想	必要性の理由 動の程度・内 がある。 の配慮 ではおりりではおりのではおりのではおりのではおりのではおりのではおりのではおりの	容 であった原因> について かった	○要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○不要 ○○ ○ ○ ○ ○ ○
2.事事 必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 効率	はの評価 (DO+CHECK 評価項目 評価項目 という必要である理由・ との必要性は をかっと要性は を変になる必要性は を変になるがった。 を加いるかった。 でき、進めて、 を加いるかった。 でき、進めて、 を変には適切かった。	平成23年3月11日に 東接を行う。 ○① (理由) □ (型事理民民也) □ (②事理民民也) □ (③③ (管市市との) (⑥ (4 であまま)	P	体5・ きにとらり 内 りりりし	注: 中地震により目標 できない ない できない ない できない ない できない ない できない でき	日の所有し、居住していた住宅が被害を受けた 《その他の内容》 《その他の内容》 大た 工夫の具体的な内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 はないがいさい値ではないが小さい値ではないがからでしている。 実現性が乏しい値ではないがからい値ではないがからい値ではないがからの値ではないがある場合、比較対象例における目標値(ときある 実施予定の対策 『度活用 □⑤ PF I等民間資	現況値の差)と	○②事前確認での想定がおりとした □①民間企業・NE □②市が先導作とした □③市が先導作とでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	限定どおり 限定とおりでなか 理由 / 想定ととおっています。 のいけたとの目にでは、 のいけたにでは、 がに供給基盤が確保 はあったがには、 がには、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	つた リでなかった原因> 「では実施できなかがら 実現に貢献した。 された 内容をその内容 〇①②目標標値値未 <目標を達取表現の ○②②根板ねを ○○②を表現した。 ○○③を表現した。 ○○○③を表現した。 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	った	の具体的な内容・ 参加・協 別期待したとおり の別が持たとなった理 ではよりでなかった原 さどおりでなかった原 さどおりでなかった原 でなかった原 の①事前の想	必要性の理由 動の程度・内 がある。 の配慮 ではおりりではおりのではおりのではおりのではおりのではおりのではおりのではおりの	容 であった原因> について かった	○要 ○要 ○不要 ○○ </th
2. 事事 必要性 参加・協働の工夫 環境への配慮 効率 対象 (2) (2) 事い	はの評価 (DO+CHECK 評価項目 評価項目 業が今必要である理由・ 最は?(事業の必要性) が実施する必要性は 6か? 実施の必要性) 参加や市民との協働を ていり) 配慮して事業を進めて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平成23年3月11日に 文援を行う。 で表して、	P で体	体5 × きにとらり のりりりし 1点 る (件) ■□□□□ (d) □□□□ (d) □□□□ (d) (d) □□□□ (d) (d) □□□ (d) (d) □□ (d) (d)	注: 中地震により目標 できない ない できない ない できない ない できない ない できない でき	日の所有し、居住していた住宅が被害を受けた 《その他の内容》 《その他の内容》 本大の具体的な内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 取りたこしい値ではない をが小さい値ではない をが小さい値ではない をがれる場合、比較対象例における目標値(とき) をある 実施予定の対策 別度活用 の対応 の同意の表表 関度活用 の対応 の同意の表表 関度活用 の対応 の同意の表表 関度活用 の対応 の同意の表表 関度活用 の対応 の同意の表表 をある の対策 の対応 の同意の表表 の対策 の対応 の同意の表表 の対策 の可能 の可能 の対応 の同意の表表 の対応 の同意の表表 の対応 の同意の表表 の対策 の可能 の可能 の対応 の同意の表表 の対応 の可能 の可能 の対応 の対応 の可能 の対応 の対応 の対応 の対応 のが のが のが のが のが のが のが のが のが の	現況値の差)と	○②事前確認での想定とした □③に対して、NE間企業ではありとした □③に対して、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	限定どおりでという。 では、	のた。 りでなかった原因> では実施できなかがれました。 でがなる及 貢献した。 された。 内容はその内容) (の内容) (の内容) (のつつでは実施できなかがれませい。 (の内容) (の内容)	つた <市実施 ○①①3当者 ○②②3当者 ○②②3当者 ○②②3当者 ○○②3当者 ○○○②3世紀 ○○○②2世紀 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	の具体的な内容・ 参加・協 期期待したとなった理 現場 とどおりでなかった原 をとどおりでなかった原 事前が でなかった原 事前が なとなった原 事が の②事 を表 る の で を表 を表 の で を表 を表 の で を表 を表 の で を表 を表 を表 の で を表 を表 を表 の で を表	必要性の理由 を	容 であった原因> について かった た原因>	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事事 必要性 参加・協働のH夫 環境への配慮 がます 市本(市本) 市工(体 環い (1) 事計 市本(市本) (2) あた 市本(市本) (3) 目標 (3) 目標 (4) のに (5) のに (6) のに (7) のに (8) のに (1) 目標 (2) のに (3) 目標 (4) のに (5) のに (7) のに (8) のに (9) のに (1) のに (2) のに (3) のに (4) のに (5) のに (7) のに (8) のに (9) のに (1) のに (2) のに (3) のに (4) のに (5) のに (6) のに (7) のに (7) のに (1) のに (2) のに (2) のに (4) のに (5) のに (7) のに (8) のに (9) のに (1) のに (2) のに (2) のに (4) のに (5) のに (7) のに (7) のに (9) のに (1) のに (2) のに	はの評価 (DO+CHECK 評価項目 評価項目 という必要である理由・ との必要性は をかっと要性は を変になる必要性は を変になるがった。 を加いるかった。 でき、進めて、 を加いるかった。 でき、進めて、 を変には適切かった。	平成23年3月11日に 支援を行う。 ○①民間□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	P で体	体5・ きにとらり 内 りりりして では 定さ る 実り 、 か ちりよ	注: 中地震により目標 できない ない できない ない できない ない できない ない できない でき	日	現況値の差)と本の活用	○②事前確認での想定がおりとした □①民間企業・NE □②市が先導作とした □③市が先導作とでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	限定どおり でと おりでと おりでと おりでと おりでと おりでと おりでと おりで と かなった 施保	つた リでなかった原因> 「では実施できなかがら 実現に貢献した。 された 内容をその内容 〇①②目標標値値未 <目標を達取表現の ○②②根板ねを ○○②を表現した。 ○○③を表現した。 ○○○③を表現した。 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	→ c c n x m m m m m m m m m m m m m m m m m m	の具体的な内容・ 参加・協 別期待したとおり の別が持たとなった理 ではよりでなかった原 さどおりでなかった原 さどおりでなかった原 でなかった原 の①事前の想	必要性の理由 を	容 であった原因> について かった た原因>	○ 要要 ○ ○ 不要 ○ ○ ○ 要不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
名 本事 (1) 事事 (2) 市立(市 (2) 市立(市 (3) 長夫制・	はの評価(DO+CHECK 評価項目 業が今必要である理由・ という。 との事権は?(事業の必要性は が実施する必要性は が実施の必要性) 参加や市民との協働を でするい。 ないである。 ないである。 の必要性が をないる。 ないである。 の必要性が をないる。 ないである。 ないではないである。 ないである。 ないではないではないである。 ないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	平成23年3月11日に 文援を行う。 で表して、	P で体	体5・ きにとらり 内 りりりして では 定さ る 実り 、 か ちりよ	(2) (3) (4) 調飲 (1) (2) (3) (4) 調飲 (1) (2) (3) (4) 調飲 (1) (2) (3) (4) (4) 減仮 (4) 減 (4	日の所有し、居住していた住宅が被害を受けた 《その他の内容》 《その他の内容》 本大の具体的な内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 取りたこしい値ではない はないはではない はずかする場合、比較対象例における目標値(ときある 実施予定の対策 関度活用 「② PF I等民間資 の対応 「② 受益者負担 「例対応 「② その他 提対象者が減となったため 計算方法	現況値の差)と本の活用	○②事前確認での想定がおりとした □①民間企業のでは、NE 個 回②市が先されたのでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	限定どおり でと お り で と お り で と お り で と お り で と お り で と お り で と お り で と お し た に	のた りでなかった原因〉 では実施できなかがか音及に でがな音及に でがな音を では実施でた 層 実現に (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容)	→ c c n x m m m m m m m m m m m m m m m m m m	の具体的な内容・ 参加・協 期期待したとなった理 現場 とどおりでなかった原 をとどおりでなかった原 事前が でなかった原 事前が なとなった原 事が の②事 を表 る の で を表 を表 の で を表 を表 の で を表 を表 の で を表 を表 を表 の で を表 を表 を表 の で を表	必要性の理由 を	容 であった原因> について かった た原因>	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
2. 事事 (1) 事事 (2) あい・協働のH夫 環境への配慮 (2) 事事 市工(体 境るか (1) 目標 (2) 事 (3) 日報 (3) 日報 (3) 日報 (4) 日報 (5) 日報 (6) 日報 (7) 日報 (8) 日報 (9) 日報 (1) 日報 (1) 日報 (2) 日報 (3) 日報 (4) 日報 (5) 日報 (6) 日報 (7) 日報 (8) 日報 (9) 日報 (1) 日報 (1) 日報 (2) 日報 (3) 日報 (4) 日報 (5) 日報 (6) 日報 (7) 日報 (8) 日報 (9) 日報 (1) 日報 (1) 日報 (2) 日報 (3) 日報 (4) 日報 (5) 日報 (6) 日報 (1) 日報 (2) 日報 (3) 日報 (4) 日報 (5) 日	はの評価(DO+CHECK 評価項目 業が今必要である理由・ 機は?(事業の必要性) が実施する必要性は かか? 参加やあか? がま施の必要性) 参加やあか? がは、のがまた。 のがな。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。	平成23年3月11日に 「大阪を行う」 「理由」 「日本 で で が で で で で で で で で で で で で で で で で	Pで体 る 市が進提保るれ 参 医民民氏動 を	体5 c c c c c c c c c c c c c c c c c c c	(2) (3) (4) (4) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	日の前々し、居住していた住宅が被害を受けた 《その他の内容》 《その他の内容》 【天の具体的な内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 「実現性が乏しい値ではないがかさい値ではないがかさい値ではないがある場合、比較対象例における目標値(となめがあれる場合、比較対象例における目標値(となめないがある場合、としている。 「関係である 実施予定の対策 「「⑤ P F I 等民間資産の対策の実施」「② P F I 等民間資産を対象がある。 「関係である 実施予定の対策」「「⑥ 受益者負担」「② その他 「関係である 実施予定の対策」(⑥ できるのは、 「日標値、図 できるの性。 「関係である」 「「) できる できる は、 「日標値、図 できる できる は、 「日標値、図 できる できる は、 「日標値、図 できる できる は、 「日標値、図 できる できる は、 「日標値 で 「 日標値 で 現 に 日 に 日 に 日 に 日 に 日 に 日 に 日 に 日 に 日 に	費用単位/事業費	○②事前確認での想定がおりとした □①民間企業のでは、NE 個 回②市が先されたのでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	限定どおり でと おりでと おりでと おりでと おりでと おりでと おりでと おりで と かなった 施保	のた りでなかった原因〉 では実施できなかがか音及に でがな音及に でがな音を では実施でた 層 実現に (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容)	→ c c n x m m m m m m m m m m m m m m m m m m	の具体的な内容・ 参加・協 期期待したとなった理 現場 とどおりでなかった原 をとどおりでなかった原 事前が でなかった原 事前が なとなった原 事が の②事 を表 る の で を表 を表 の で を表 を表 の で を表 を表 の で を表 を表 を表 の で を表 を表 を表 の で を表	必要性の理由 を	容 であった原因> について かった た原因>	○ 要要 ○ ○ 不要 ○ ○ ○ 要不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
名 本事情 (1) 事情 (2) 市立(市 (2) 市立(市 (3) 長夫制・「「「「「「」」」」」 (3) 日投(日 (1) 目 事い、「目投(日	はの評価(DO+CHECK 評価項目 業が今必要である理由・ 機は?(事業の必要性) が実施する必要性は かか? 参加やあか? がま施の必要性) 参加やあか? がは、のがまた。 のがな。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。	平成23年3月11日に 「大阪を行う」 「理由」 「日本 で で が で で で で で で で で で で で で で で で で	Pで体 る 市が進提保るれ ・ 参参参と実 配 に に ここくよ ・ 協 画 画 連施	体5. ときにとより のりりりして では できる まい か りりりして できない な ありよ	(2) (3) (4) (4) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	日	費用単位/事業費	○②事前確認での想定がおりとした □①民間企業のでは、NE 個 回②市が先されたのでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	限定どおり でと おりでと おりでと おりでと おりでと おりでと おりでと おりで と かなった 施保	のた りでなかった原因〉 では実施できなかがい 実現にたきなかがい。 実現にたった層 はなきないの内容 ではなかがい。 実現にたった。 (又の内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容)	→ c c n x m m m m m m m m m m m m m m m m m m	の具体的な内容・参加・協 動期期待したとなった理 地たとなった理 でなかった原 をとどおりでなかった原 でなかった原 でなかった原 の②②事事がのり ・製足となった	必要性の理由 を	容 であった原因> について かった た原因>	○ 要要 ○ ○ 不要 ○ ○ ○ 要不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事事 (1) 事事 (2) あい・協働のH夫 環境への配慮 (2) 事事 市工(体 境るか (1) 目標 (2) 事 (3) 日報 (3) 日報 (3) 日報 (4) 日報 (5) 日報 (6) 日報 (7) 日報 (8) 日報 (9) 日報 (1) 日報 (1) 日報 (2) 日報 (3) 日報 (4) 日報 (5) 日報 (6) 日報 (7) 日報 (8) 日報 (9) 日報 (1) 日報 (1) 日報 (2) 日報 (3) 日報 (4) 日報 (5) 日報 (6) 日報 (7) 日報 (8) 日報 (9) 日報 (1) 日報 (1) 日報 (2) 日報 (3) 日報 (4) 日報 (5) 日報 (6) 日報 (1) 日報 (2) 日報 (3) 日報 (4) 日報 (5) 日	はの評価(DO+CHECK 評価項目 業が今必要である理由・ 機は?(事業の必要性) が実施する必要性は かか? 参加やあか? がま施の必要性) 参加やあか? がは、のがまた。 のがな。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。 のがまた。	平成23年3月11日に 「大阪を行う」 「理由」 「日本 で で が で で で で で で で で で で で で で で で で	Pで体 る 市が進提保るれ ・ 参参参と実 配 に に ここくよ ・ 協 画 画 連施	体5・ きにとり のりりりして 記点 る (件) ■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	(2) (3) (4) (4) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	日の前々し、居住していた住宅が被害を受けた 《その他の内容》 《その他の内容》 【天の具体的な内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 取組む内容 「実現性が乏しい値ではないがかさい値ではないがかさい値ではないがある場合、比較対象例における目標値(となめがあれる場合、比較対象例における目標値(となめないがある場合、としている。 「関係である 実施予定の対策 「「⑤ P F I 等民間資産の対策の実施」「② P F I 等民間資産を対象がある。 「関係である 実施予定の対策」「「⑥ 受益者負担」「② その他 「関係である 実施予定の対策」(⑥ できるのは、 「日標値、図 できるの性。 「関係である」 「「) できる できる は、 「日標値、図 できる できる は、 「日標値、図 できる できる は、 「日標値、図 できる できる は、 「日標値、図 できる できる は、 「日標値 で 「 日標値 で 現 に 日 に 日 に 日 に 日 に 日 に 日 に 日 に 日 に 日 に	費用単位/事業費	○②事前確認での想定がおりとした □①民間企業のでは、NE 同②市が先されたのでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	限定どおり でと おりでと おりでと おりでと おりでと おりでと おりでと おりで と かなった 施保	のた りでなかった原因〉 では実施できなかがい 実現にたきなかがい。 実現にたった層 はなきないの内容 ではなかがい。 実現にたった。 (又の内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容) (マの内容)	→	の具体的な内容・参加・協 動期期待したとなった理 地たとなった理 でなかった原 をとどおりでなかった原 でなかった原 でなかった原 の②②事事がのり ・製足となった	必要性の理由 を	容 であった原因> について かった た原因>	○ 要要 ○ ○ 不要 ○ ○ ○ 要不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

事務事業評価表(平成29年度)

事業コード	2091			課コード		0703		会計種	1 一般会	計			予算(の種類 ■	■政策	□経常	口なし
	2001			ix → 1		0700		Ante	M MX Z	х и і			1 31	71±X	- W.A.		
1. 事業の概要(PLAN)	T	基本事業									T T						
	①事業名		若い世代の)住宅取得支援						計画への 畳づけ	0	有 〇無		②部課名	都市部・強	建築住宅課	
	③事業主体	●市	〇その他	<u>b</u> () ④対象地	拉区	□我孫子	口天王台	口湖北	口新木	□布佐	■全市	
(1)事業概要	⑤事業期間			平成20	6年度 ~	年度 ~ 平成29年度				战員数	(当 初)	5(4 人 0,239 千円	4 人 (換算人数 0.55 人) 239 千円 (うち人件費 4,840 千円			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費			0 千円	0 千円			当該(開	開始)年度	(変更後)		千円				
	⑧施策の位置づけ	施策		64002	<u> </u>	重点プロジェクト 重点 3				画地区別)有 〇無		部門別計画への(計画名)			
		1-1	する市民の)多様なニーズに	対応するため、1	への位置づけ 住まいにかかわる	 相談窓口や総)位置づけ			得に対する補	位置づけ 動を行い、若い世		の定住化を促進す	る。特に市外か
(2)目的	施策目的 · 展開方向	するととも	に、若い世	せ代の住宅取得や	住宅リフォーム、	、液状化被害を受 を進めます。また、	けた住宅等の	敷地の有効活用、	高齢 事業	事業目的 らの転入と市内東側地区での定住を促進する。							
		若い世代が	市内に住宅	Eを購入して転入		、市内の賃貸に住ん					・広報、ホー		の不動産業者	ずやハウスメーカー	・等へ依頼し制	制度周知を図る	
		入した場合に補助金を支給する。 次の場合は補助金を加算する。 ・市内東側地区の住宅を取得した場合								5年度 計画	・補助金申請						
(3)事業内容	内 容																
											補助金の交付	申請数			単位	想定值 件	
(4)達成目標(期待する成果)				凌 di D i	標(期待する成果	1)				#果指標 #種類		++	重標 標		単位	実績値	(6)目標値
当該(開始)年度	制度が周知され、	多くの人に活	用される。		保(期付りの収末	()				接	交付申請数	ŤE.	日		件		
3年後									- I	間接					件	0	423
最終(概ね5年後)										引接					件		
(2) to the total of a smart 1 11 to	市外への周知方法				- Mr	51 L 7 N T 10 L 7											
(7)事業実施上の課題と対応	29年度より新制			「削に継続等の事	・業展開を毎年検	討する必要がある。	-		代替	案検討)有 ●無					
	₇₅₇ :	平成28	年度	A# (T P)	Tiler .		₽成29年度	Δ# (7 Π) #	4t (- m) I	u _r :		战3 O 年度 	A## (## III	, ₇₄₇ :		3 1 年度	A # (= m)
	策: 住宅取得補助会	内 容 2		金額(千円)	政 策) * 住宅取得額	内 容 		金額(千円) 実	績値(千円) 5	衰	内	容	金額(千円	策:	内 容	\$	金額(千円)
	20万円×410 窓付き封筒作品	件		83	* 基本補助	カ 50,000円×35 150,000円×10		16, 350 15, 000									
	15.2円×5,0 アンケート回4			11	* 転入 (住宅取得	100,000円×14 計補助金 補助対象		14, 000									
	10円×1,000 アンケート回4		費	97	7 * 周知用カラ	* 周知用カラーチラシ作成 49 15円×3,000枚×1.08											
実施内容	97円×1,000	部			15円×3,												
(8)施行事項 費 用																	
予算(済)額		合 計	50	82, 191		合 計	50	45, 399			合 計			0	合 計		0
国庫支出金県支出金	補助率		50 % 0 %	41,000	補助率		0 %	22, 675		補助率		0 %		0 補助率		0 %	0
(9) 財源内訳 起債 一般財源	充当率		0 %	41, 191	70-1-	W = # 75 = # A	0 %	22, 724		充当率		0 %		0 充当率	V = != ?= =	0 %	0
その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受益 [□債務 □基金	☆□その他	0. 55	5	益 口債務 口基金	□その他	0 0.55]受益 □債務 □	□基金 □その他	•	0 □特会 □受	益 □債務 □	基金 □その他	0
(10) 人件費等				4, 840)			4, 840 0						0			0
臨時職員賃金額 事業費(予算(済)額+正職員人件費				87, 031				0 50, 239						0			0
(11) 単位費用		212. 27千F	m /#						-					- 			
(事業費/活動結果指標)		212.27 1	H / 1H			153.64千円	月/件	,									
(事業費/活動結果指標) 2. 事業の評価(D0+CHEC	К)	212.27	H H			153.64千円	円/件										
					前評価			復 域 叶	O①東前珠智	死の相中		・価(評価結果に	応じ、改善乳	を検討(拡充も含む	3))		改善検討
2. 事業の評価 (DO+CHEC _{評価項目}	我孫子市の人口が に多くの申請があ	減少傾向にあったことから	5り、特に若 5、更に効果	告い世代の定住化	を促進したい。	153.64千円 平成26年度から実 引き下げ、市内東・	施した住宅取		○①事前確認○②事前確認				応じ、改善乳		5))		
2. 事業の評価(DO+CHEC	我孫子市の人口が に多くの申請があ	減少傾向にあったことから	5り、特に若 5、更に効果	告い世代の定住化	を促進したい。	平成26年度から実	施した住宅取		〇②事前確認	での想定と	どおり どおりでなかっ		応じ、改善系		;))		改善検討 〇要 〇不要
2. 事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1)事業が今必要である理由	我孫子市の人口が に多くの申請があ ・の転入を促進する	減少傾向にあ ったことから 事業として実	5り、特に若 か、更に効果 を施する。	らい世代の定住化 そのある事業とし	を促進したい。 て、対象年齢の	平成26年度から実 引き下げ、市内東・	施した住宅取		○②事前確認 <想定どおり	とした理由	どおり どおりでなかっ a/想定どおりて	たでなかった原因>		客検討(拡充も含む		#>	O要
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性)	表孫子市の人口が に多くの申請があ の転入を促進する ●①民間企業、N (理由) □法令等	減少傾向にあったことから 事業として実 NPO、市民E	り、特に若 い、更に効果 になる。 団体等では3 であることが定	きい世代の定住化 人のある事業とし 実施できない	を促進したい。	平成26年度から実 引き下げ、市内東・	施した住宅取		○②事前確認 <想定どおり □①民間企業 □②市が主導	Rでの想定と とした理由 、NPO、 算で進めない	どおり どおりでなかっ a/想定どおりで 市民団体等で ければ実効性が	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった				曲>	O要
2. 事業の評価 (DO+CHEC 評価項目 (1) 事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必 要	表孫子市の人口が に多くの申請があ の転入を促進する ●①民間企業、N (理由) □法令等	減少傾向にあら 事業として実 PO、市民F で市が実施す 体が市しかな	り、特に若 い、更に効果 を施する。 団体等では3	きい世代の定住化 人のある事業とし 実施できない	を促進したい。 て、対象年齢の	平成26年度から実 引き下げ、市内東・	施した住宅取		○②事前確認 <想定どおり □①民間企業 □②市が主導 □③市が先導 促進され	限での想定さ とした理由 を、NPO、 等で進めない 等でとなった いた	どおり どおりでなかっ 1/想定どおりて 、市民団体等で	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層		客検討(拡充も含む		± >	O要
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか?	我孫子市の人口がに多くの申請があっの転入を促進する ●①民間企業、「(理由) □法令等 ■提供主	減少傾向にあら す業として実 NPO、市民E で市が実施す 体が市しかな る市が推進す	5り、特に若果 か、更に効果 対施する。 団体等ではだ ことが定 い	きい世代の定住化 県のある事業とし 実施できない ミめられている	を促進したい。 て、対象年齢の <その他の内 <その他の内	平成26年度から実 引き下げ、市内東 引容>	施した住宅取		○②事前確認 <想定どおり □①民間企業 □②市が主導 □③市が先きれ □④市のエジュー □⑤サービス	思での想定とした理由 とした理由 といい といい といい といい といい といい といい といい といい とい	どおりでなかっ は一根定どおりでなかっ は一根には一根は一根では、 はれば実効市民へ になっては、 での目標の実	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した		客検討(拡充も含む		±>	O要
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性(2) 市が実施する必要性は	我孫子市の人口がに多くの申請があっの転入を促進する ●①民間企業、「(理由) □法令等 ■提供生 ○②自治体である(理由) □市が実	減少傾向にあらます。 本業として実 NPO、実施が市しかな ないまで進める で進めるこ	り、特に若果 い、更に効果 可体等ではな ではな さい べとこと とことにと とことにと にと にと にと にと にと にと に と こ と さ に と う に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	きい世代の定住化 県のある事業とし 実施できない ミめられている	を促進したい。 て、対象年齢の <その他の内 <その他の内	平成26年度から実 引き下げ、市内東 引容>	施した住宅取		○②事前確認 <想定どおり □①民間企業 □②市が主導 □③市が先きれ □④市のエジュー □⑤サービス	思での想定とした理由 をした理由 N 単 と し N 単 と し N 単 と い で と は で と は で と な で ま な で と な で な で な が 準 定 供 糸 な く の の と が で は 米 な 安 定 供 糸	どおりでなかっない。 ・市民団体等ではいます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した		客検討(拡充も含む		由>	○要 ○不要
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか?	表孫子市の人口がに多くの申請があっの転入を促進する ●①民間企業、トの転入を促進する ●①民間企業、トの地のでは、一つでは、一つでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「知知のでは、」」のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、」」のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」のは、「知知のでは、」のは、「知知のでは、」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のないを、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」のは、」のは、「知知のない、」のは、」のは、」のは、「知知のない、」のは、知知のない、」のは、「知知のない、」のは、知知のない、」のは、知れない、」のは、知知のない、」のは、知知のない、知知のない、知	減少傾向にあら 減少傾向として 事業として 実し 下実し 下実し 下寒し 下寒し で体が市が推進めすされ がで・提供証 がながなする。	5り、特に若来 、更に効果 変施する。 団体等でが定 い べきであるり実り	い世代の定住化 とのある事業とし 実施できない とめられている	を促進したい。 て、対象年齢の <その他の内 <その他の内	平成26年度から実 引き下げ、市内東 引容>	施した住宅取		○②事前確認り ○②事前確認り ○③申前企業調企のでは、 ○③市が生みでは、 ○④市が生みでは、 ○④市のせるが、 ○○・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	思での想定とした理由 をした理由 N 単 と し N 単 と し N 単 と い で と は で と は で と な で ま な で と な で な で な が 準 定 供 糸 な く の の と が で は 米 な 安 定 供 糸	どおりでなかっない。 ・市民団体等ではいます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した		客検討(拡充も含む		由>	○要 ○不要
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか?	表孫子市の人口がに多くの申請があっの転入を促進する ●①民間企業、トの転入を促進する ●①民間企業、トの地のでは、一つでは、一つでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「理由」のでは、「知知のでは、」」のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、」」のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」のは、「知知のでは、」のは、「知知のでは、」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のでは、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のないを、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」」のは、「知知のない、」のは、「知知のない、」のは、」のは、「知知のない、」のは、」のは、」のは、「知知のない、」のは、知知のない、」のは、「知知のない、」のは、知知のない、」のは、知れない、」のは、知知のない、」のは、知知のない、知知のない、知	減少傾向にあらまないます。 下で体体が市市で進程証とには、 おいではないます。 「ではいますない。 ではいますでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	5り、特に若来 、、更に効果 可体等ではが定 ることが定 でよい べきでよりより とことにとにと るより より より より より なり なり なり なり なり なり とことがな	い世代の定住化 とのある事業とし 実施できない とめられている と効性が得られる し、良質で安定し	を促進したい。 て、対象年齢の <その他の内 <その他の内	平成26年度から実引き下げ、市内東付	施した住宅取側地区への定		○②事前確能 おり □①民間企業 日 □ ②市 市 進 立 を 対 辺 ②市 市 進 立 支 対 元 世 ④市 ツー ビス □ ③ サー ビス □ ⑤ サー 他 <その他の内:	Rでの想定と とした理由 とした理由 O、N P O S が進 でとなった を事等なた をなった。 を を で を は と な で を は と な で を は と な で を は た れ 、 の 、 の 、 の 、 の の く の の の の の の の の の の	どおりでなかっない。 ・市民団体等ではいます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・市民団体のではないます。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	た でなかった原因> は実施できなかっ なかった 普及が一層 現に貢献した れた		家検討(拡充も含む	必要性の理		○要 ○不要
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性)	我孫子市の人口がに多くの申請があっています。 の転入を促進する の転入を促進する の転入を促進する 回見 日本 (理由) □法供生 □市ががに □市ががに □ 東朝 できるの他 ○②事業計画時に	減少傾向にあらまりでは、 はなたことして、実にかっま業として、実にかっては、 で体が、で、実しいでは、 では、まで、提供証こるでは、 を変した。	り、特に若果 り、恵する。 切なこと がよこと がまたには ありより ではだこる。 よりの内容	い世代の定住化 とのある事業とし 実施できない とめられている と効性が得られる し、良質で安定し	を促進したい。 て、対象年齢の <その他の内 <その他の内	平成26年度から実 引き下げ、市内東 引容>	施した住宅取側地区への定		○②事前確確 <想定どおり □①民間企業 □②市が先端 促進する ・促進する ・促進する ・収金 ・サービス ・マの他の内 ・実施した	Rでの想要とした理由 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	どおりでなかっ コン想定どおりでなかっコン想定どおりでなかっ ホートにはない はいから でいる でいる でいる でいる でいる はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	たでなかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施	家検討(拡充も含む を検討(拡充も含む を加・協 を加・協 初期待した以上			○要 ○不要
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性(2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性)	表孫子市の人口がに多くの申請があるの転入を促進するの転入を促進するの転入を促進するの転入を促進するの転入を保進するの転入を保護のである。 ○②自治体でが主日本の他のでは、「理由」の「事業計画時にの「②事業実施時にの「②事業」を明めては、「日本のでは、	減少傾向にあらまりで体が、高導施ス援図では、実し、市施かがで、提供にこるでは、実しが、するすさにに、市民民のののののののののののののののののののののののののののののののののの	り、特に対しています。 り、前のでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	等い世代の定住化 製のある事業とし 実施できない きめられている 製効性が得られる リ、良質で安定し 施策の目標の	を促進したい。 て、対象年齢の <その他の内 <その他の内	平成26年度から実引き下げ、市内東付	施した住宅取側地区への定		○②事前確確 <想定どおり □①民間企業 □②市が先端 促進する ・促進する ・促進する ・収金 ・サービス ・マの他の内 ・実施した	Rでの想要とした理由 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	どおりでなかっつ はどおりでなかっつ は 別定 どおりでなかりで は 八想定 どおりで 市民域 一大 市民域 かって 標 大 で いっぱ で は かっと かっと が また が は かっと かっと が は かっと	たでなかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実が の①当当 の②当	案検討(拡充も含む をの具体的な内容・ 参加・協	必要性の理		○要 ○不要○要 ○不要
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性(2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性)	我孫子市の人口がに多くの申请進するの転入を促進するの転入を促進するの転入を促進するの転入を促進するの転入を促進するの転入を促進するのでは、「理由)□は法令等主では、「理由)□は法令をは、「理由)□は法令をできる。「は、「は、「は、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、は、」に、は	減少傾向にあら実 同向として実 同向として実 ア中市が市市で提保証こる ・ では、実しが では、実しが では、実しが では、実しが では、実しが では、として では、として では、として では、として では、として では、として では、として では、として では、として では、こる は、値面の画しま では、これで、として では、これで、として では、これで、として では、として では、として では、これで、として では、これで、として では、これで、として では、これで、として では、これで、として では、これで、として では、これで、として では、これで、として では、これで、として では、これで、として では、これで、として では、これで、として では、これで、として では、これで、として できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	り、特に対しています。 り、前のでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	等い世代の定住化 製のある事業とし 実施できない きめられている 製効性が得られる リ、良質で安定し 施策の目標の	を促進したい。 て、対象年齢の <その他の内 <その他の内	平成26年度から実引き下げ、市内東付	施した住宅取側地区への定		○②事前確確 <想定どおり □①民間企業 □②市が先端 促進する ・促進する ・促進する ・収金 ・サービス ・マの他の内 ・実施した	Rでの想要とした理由 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	どおりでなかっつ はどおりでなかっつ は 別定 どおりでなかりで は 八想定 どおりで 市民域 一大 市民域 かって 標 大 で いっぱ で は かっと かっと が また が は かっと かっと が は かっと	たでなかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 〇①当 〇②当 〇③当	を検討(拡充も含むを をの具体的な内容・ を加・協 初期待した以上 初期待したとおり	必要性の理は	기 容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性(2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性)	表孫子市の人口がに多くの申請するのを見ると共一のを記しています。 の転入を促進する の転入を促進する 回見 日本 である (理由) 日本 (理	減少傾向にあら実 同向として実 同向として実 同のとして実 の向として実しがする。 では、実しのでは、実しては、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	り、特に対しています。 り、前のでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 いまでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	等い世代の定住化 製のある事業とし 実施できない きめられている 製効性が得られる リ、良質で安定し 施策の目標の	を促進したい。 て、対象年齢の <その他の内 <その他の内	平成26年度から実引き下げ、市内東付	施した住宅取側地区への定		○②事前確確 <想定どおり □①民間企業 □②市が先端 促進する ・促進する ・促進する ・収金 ・サービス ・マの他の内 ・実施した	Rでの想要とした理由 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	どおりでなかっつ はどおりでなかっつ は 別定 どおりでなかりで は 八想定 どおりで 市民域 一大 市民域 かって 標 大 で いっぱ で は かっと かっと が また が は かっと かっと が は かっと	たでなかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 〇①当 〇②当 〇③当	を検討(拡充も含むを を加・協 を加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待し下	必要性の理は	기 容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性) (市実施の必要性)	我孫子市の人口がに多くの申请進するの転入を促進するの転入を促進するの転入を促進するの転入を促進するの転入を促進するの転入を促進するのでは、「理由)□は法令等主では、「理由)□は法令をは、「理由)□は法令をできる。「は、「は、「は、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、「は、」に、「は、「は、」に、「は、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、「は、」に、」に、は、」に、は	減少傾向にあら実 同向として実 同向として実 アの市が市市市で提保証こる を アの手がが進場証こる を では、実しのでは では では では では では では では では では では では では で	り、たいでは、 が、大きないでは、 がありよりでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	きい世代の定住化 果のある事業とし 実施できない とめられている と効性が得られる 」、良質で安定し 施策の目標の	を促進したい。 て、対象年齢の <その他のゆ <その他のゆ	平成26年度から実引き下げ、市内東付	施した住宅取側地区への定		○②事前確確 <想定どおり □①民間企業 □②市が先端 促進する ・促進する ・促進する ・収金 ・サービス ・マの他の内 ・実施した	Rでの想要とした理由 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	どおりでなかっつ はどおりでなかっつ は 別定 どおりでなかりで は 八想定 どおりで 市民域 一大 市民域 かって 標 大 で いっぱ で は かっと かっと が また が は かっと かっと が は かっと	たでなかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた	た <市実施 〇①当 〇②当 〇③当	を検討(拡充も含むを を加・協 を加・協 初期待した以上 初期待したとおり 初の期待し下	必要性の理は	기 容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性(2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性)	表孫子市の人口がに多くの申請進するの転入を促進するの転入を促進するの転入を促進するの転入を促進するの転入を供通しては、一旦のでは、「毎年の	減少傾向にあらまりでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	り、特に対している。 り、施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	きい世代の定住化 果のある事業とし 実施できない とめられている と効性が得られる 」、良質で安定し 施策の目標の	を促進したい。 て、対象年齢の <その他のゆ <その他のゆ	平成26年度から実引き下げ、市内東付	施した住宅取側地区への定		○②事前確確 <想定どおり □①民間企業 □②市が先端 促進する ・促進する ・促進する ・収金 ・サービス ・マの他の内 ・実施した	Rでの想 での 想 で	どおりでなかっつ はどおりでなかっつ は 別定 どおりでなかりで は 八想定 どおりで 市民域 一大 市民域 かって 標 大 で いっぱ で は かっと かっと が また が は かっと かっと が は かっと	たでなかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	た <市実が 〇①当 〇2当 <期待し	を検討(拡充も含むを をの具体的な内容・ をの具体的な内容・ が期待した以上 が初の期待したとおり 初の期待以上となった理 では、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに	必要性の理は	기 容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性(2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) ホ民の参加や市民との協働を工夫しているか?(体制づくり) 環境	我孫子市の人口があるに多くなの転送という。の転入を促進するのをに多くのを促進するのをに発達している。 「日間のでは、「「「中国」のでは、「「中国」のでは、「中国」のは、「中国」のは	減少傾向になり、実になって、あらりでは、実しのでは、実しのでは、実しのでは、実しのでは、実しのでは、実しのでは、実しのでは、実しのでは、実しのでは、実しのでは、また	り、特に対している。 り、施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	きい世代の定住化 果のある事業とし 実施できない とめられている と効性が得られる 」、良質で安定し 施策の目標の	を促進したい。 て、対象年齢の <その他のゆ <その他のゆ	平成26年度から実引き下げ、市内東付 引き下げ、市内東付 内容>	施した住宅取側地区への定		○②事前確確 <想定どおり □①民間企業 □②市が先端 促進する ・促進する ・促進する ・収金 ・サービス ・マの他の内 ・実施した	Rでの想 での 想 で	どおりでなかっつ A / 想定どおりで ホ市民実団体効性体 大けたこでの目に 施策さればといい 施策さればといい 施策さなが を発 を発 を発 を発 を発 を発 を発 を の の の の の の の の の の の の の	たでなかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	た <市実施 O①当当 O①想当	を検討(拡充も含むを を検討(拡充も含むを を加・協 を加期待した以上 が期待したとより 初初の期待以下 た以上となった理	必要性の理(動の程度・P	기 容	○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性(2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) ホストしているか?(体制づくり) (本制づくり)	表孫子市の人口がある。の転入を促進するの転送を供の他の表記を供の他の方法を供の他の方法を供の他の方法をは、「等主ののである。」のである。 ●①(理由) □ は、「等主のでから、「等主のである。」のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等を供いる。」の②のでは、「等をは、「等をは、「等をは、「等をは、「等をは、「等をは、「等をは、「等を	減少傾向にかす。 アで体 る 導施ス援図	り、施 切るい べきにと 助 有有有携 かい 視点 なりり ない ない ない ない 内りり てい カリリ にん ない	きい世代の定住化 果のある事業とし 実施できない とめられている と効性が得られる 」、良質で安定し 施策の目標の	を促進したい。 て、対象年齢の <その他のゆ <その他のゆ	平成26年度から実引き下げ、市内東付 引き下げ、市内東付 内容>	施した住宅取側地区への定		○②事前確確 <想定どおり □①民間企業 □②市が先端 促進する ・促進する ・促進する ・収金 ・サービス ・マの他の内 ・実施した	Rでの想 での 想 で	どおりでなかっつ A / 想定どおりで ホ市民実団体効性体 大けたこでの目に 施策さればといい 施策さればといい 施策さなが を発 を発 を発 を発 を発 を発 を発 を の の の の の の の の の の の の の	たでなかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	た <市実が ○①当当 ○②当当 <期待し ○②想	を検討(拡充も含むをの具体的な内容・参加・協利期待したとより初初期の期待したとより、た以上となった理理となった理理となった。	必要性の理(動の程度・P	기 容	○ 要 ○ 不要 ○ 。
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を表しているか?(体制づくり) (体制づくり)	我孫子市の人になっています。 ●①民間□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	減っ事 Pで体 あ導施ス援図 たまと Pの あら美 El f が は として 下裏し 推め供証こる か 参参参と 業 配 ていい献	り、施 切るい べきにと 助 有有有携 かい 視点 なりり ない ない ない ない 内りり てい カリリ にん ない	きい世代の定住化 果のある事業とし 実施できない とめられている と効性が得られる 」、良質で安定し 施策の目標の	を促進したい。 て、対象年齢の <その他のゆ <その他のゆ	平成26年度から実引き下げ、市内東付 引き下げ、市内東付 内容>	施した住宅取側地区への定		○②事前確確 <想定どおり □①民間企業 □②市が先端 促進する ・促進する ・促進する ・収金 ・サービス ・マの他の内 ・実施した	Rでの想 での 想 で	どおりでなかっつ A / 想定どおりで ホ市民実団体効性体 大けたこでの目に 施策さればといい 施策さればといい 施策さなが を発 を発 を発 を発 を発 を発 を発 を の の の の の の の の の の の の の	たでなかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	た <市実が ○①当当 ○②当当 <期待し ○②想	を検討(拡充も含むを をかかな内容・ をの具体的な内容・ が初期待したとおり 初期の期待以たと下した以上となった理 でという。 ではおりでなかった。	必要性の理(動の程度・P	기 容	○
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性(2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) ホストしているか?(体制づくり) (本制づくり)	表孫子市の人口がある。の転入を促進するの転送を供の他の表記を供の他の方法を供の他の方法を供の他の方法をは、「等主ののである。」のである。 ●①(理由) □ は、「等主のでから、「等主のである。」のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等主のでは、「等を供いる。」の②のでは、「等をは、「等をは、「等をは、「等をは、「等をは、「等をは、「等をは、「等を	減っ事 Pで体 あ導施ス援図 たまと Pの あら美 El f が は として 下裏し 推め供証こる か 参参参と 業 配 ていい献	り、施 切るい べきにと 助 有有有携 かい 視点 なりり ない ない ない ない 内りり てい カリリ にん ない	きい世代の定住化 果のある事業とし 実施できない とめられている と効性が得られる 」、良質で安定し 施策の目標の	を促進したい。 て、対象年齢の <その他のゆ <その他のゆ	平成26年度から実引き下げ、市内東付 引き下げ、市内東付 内容>	施した住宅取側地区への定		○②事前確確 <想定どおり □①民間企業 □②市が先端 促進する ・促進する ・促進する ・収金 ・サービス ・マの他の内 ・実施した	Rでの想 での 想 で	どおりでなかっつ A / 想定どおりで ホ市民実団体効性体 大けたこでの目に 施策さればといい 施策さればといい 施策さなが を発 を発 を発 を発 を発 を発 を発 を の の の の の の の の の の の の の	たでなかった原因〉 は実施できなかっなかった 普及が一層 現に貢献した れた 容(又は今後、 はその内容)	た <市実が ○①当当 ○②当当 <期待し ○②想	を検討(拡充も含むを をかかな内容・ をの具体的な内容・ が初期待したとおり 初期の期待以たと下した以上となった理 でという。 ではおりでなかった。	必要性の理(動の程度・P	기 容	○ 要 ○ 不要 ○ 。
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性(2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) ホストしているか?(体制づくり) (本制づくり)	我孫子市の人にがある。の転入の転送のでは、「等主の中に選挙を供の他の人にある。」 ●①日に関ロは関ロは、「等主の中に対しては、「等主の中に対しては、「等主の中に対しては、「等主の中に対しては、「等主の中に対しては、「等主の中に対しては、「等主の中に対しては、「等主の中に対しては、「等主の中に対しては、「等主の中に対しては、「等主の中に対しては、「等をは、「等をは、「等をは、「等をは、「等をは、「等をは、「等をは、「等を	減っ事 Pで体 あ導施ス援図 たまと Pの あら美 El f が は として 下裏し 推め供証こる か 参参参と 業 配 ていい献	が、施 団	きい世代の定住化 果のある事業とし 実施できない とめられている と効性が得られる 」、良質で安定し 施策の目標の	を促進したい。 て、対象年齢の	平成26年度から実引き下げ、市内東付 引き下げ、市内東付 内容>	施した住宅取側地区への定		○②事前確確 <想定どおり □①民間企業 □②市が先端 促進する ・促進する ・促進する ・収金 ・サービス ・マの他の内 ・実施した	Rでの想 での 想 で	どおりでなかっつでは されりでなかっつでは はたこまではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	た でなかった原因〉 は実施できなかった できなかった 音 現に 貢献 したれた マスは今後、はその内容) 日標値 達成	た <市実が O①当当 O②当当 <期待し O②想 <想定と	を検討(拡充も含むを をかかな内容・ をの具体的な内容・ が初期待したとおり 初期の期待以たと下した以上となった理 でという。 ではおりでなかった。	必要性の理(動の程度・P	기 容	○ 要 ○ 不要 ○ 。
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性(2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) ホストしているか?(体制づくり) (本制づくり)	我孫子市の人情達する 「	減少傾にないます。 マー・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	り、施 団るい べとこるよ 助 有有有携 on 視 い くとこるよ り 内 リリ て い カリリ て い カリリー	きい世代の定住化 関のある事業とし 実施できない。 を効性が得られるし、 良効性が得らなし、 施策の目標の	を促進したい。 て、対象年齢の くその他の くその他の た ・ のいでいる。 ・ 目標値 ・ タ・事実に基づ	平成26年度から実引き下げ、市内東付別を下げ、市内東付別を下げ、市内東付別をファイン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファン・ファ	施した住宅取側地区への定		○②事前確確 <想定どおり □①民間企業 □②市が先端 促進する ・促進する ・促進する ・収金 ・サービス ・マの他の内 ・実施した	Rで と と * * * * * * * * * * * * * * * * *	どおりでなかっつでは されりでなかっつでは はたこまではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	た でなかった原因〉 は実施できなかっ ななかった 音 及が一層 現に貢献した れた 容 (又は今後、 はその内容) 容 〇〇①目標値達え の 〇〇②目標値を表	た <市実施	を検討(拡充も含むを をからな内容・ をからしたとと をからしたとという。 をありしたとという。 をはいる。 をあります。 をはいる。 ともももももももももも。 とももももももももももももももももももももももも	必要性の理を 働の程度・戸 電由/期待以、 意への配慮 た で	기 容	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?(体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	我孫子市の人情達する 「	減少原にないます。 Nで体 る P で 体 る P で 体 る P で 体 る P で 体 な で よい で は M で で は M で で と し で で は M で で を で で で で で で で で で で で で で で で で	り、施 切 ない だとにより か 有有有携 かい 視 い の りり てい か 点 ない なりよい 策を からしまい からりり てい からりり てい からりり てい ウス 点 しんしん カース しんしん カース しんしん カース しんしん カース しんしん カース しんしん カース しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しんしん しん	きい世代の定住化し 実施できないる 実施られている 実施られている 実施られている ミ効性が得で 標の 一つのでは、 一つのでは、 できない。 このでは、 できない。 できない。 このでは、 できない。 をない。 をない。 をない。 をない。 できない。 をない。 をない。 をない。 をない。 をない。 をない。	を促進したい。 「その他のが 「たとで、対象年齢のが 「なって、対象年齢のが 「なって、対象年齢のが 「なって、対象を関係している。 「なって、対象を関係している。 「なって、対象を関係している。 「なって、対象を関係している。 「なって、対象を対象を対象がががある。」 「なって、対象を対象を対象を対象がががある。	平成26年度から実 引き下げ、市内東 引容> 工夫の具体 取組む の妥当性のチェッ うき設定している 値ではない	施した住宅取側地区への定めのな内容	住及び市外から	○②事前確確 おり □○②市が住宅では、	Rで と と * * * * * * * * * * * * * * * * *	どおりでなかっては、	た でなかった原因〉 は実施できなかっ ななかった 音 及が一層 現に貢献した れた 容 (又は今後、 はその内容) 容 〇〇①目標値達え の 〇〇②目標値を表	た <市実施	を検討(拡充も含むを をかかな内容・ をの具体的な内容・ が初期待したとおり 初期の期待以たと下した以上となった理 でという。 ではおりでなかった。	必要性の理を 働の程度・戸 電由/期待以、 意への配慮 た で	기 容	○ 要 ○ ○ 不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?(体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか?	我孫子市の人情進する 「「の転入」の「「の転入」の「「の転入」の「「大学」では、「は、「大学」では、「いい、「大学」では、「大学」が、「いいいいいいは、「ないいいいいいいいいいは、「ないいいいは、「ないいいいいいいいいい	減少傾にないます。 マー・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	り、施 切 ない べとこるよ り 内 有 有 有 携 し ハ 視	きい世代の定住化し 実施できない。 実施られている と対し良でできない。 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しまするし、 を対しますると、 をすると、 をもなと、	を促進したい。 で、対象年齢の くその他の くその他の た ・ では、 なるのの を では、 なるのの を では、 なるのの を では、 なるのの を を ののでする では、 なるのの を では、 なるのの を はないでは、 ないでは、	平成26年度から実生引き下げ、市内東付け、市内東イド、市内東イド、市内東イド、市内東イド、市内東イド、市内東イド、市内東イド、市内東イド、市内東イド、市内東イド・市内東イド・市内東市市内東市市内東市市内東市市内東市市内東市市内東市市内東市市内東市市内東	施した住宅取側地区への定めのな内容	住及び市外から	○②事前確確 おり □○②市が住宅では、	Rで と と * * * * * * * * * * * * * * * * *	どおりでなかっつ A/想定どおりでなかっつ。 ホ市民域でおりでは ホ市民域では 大力にであればないであればないであればないであればないであればないであればないであればないであればないであればないであればないである。 ボストライン・ボストラー・ボストラー・ボストラー・ボストライン・ボストライン・ボストラー	た でなかった原因 〉 は実施できなかっ な	た <市実前	を検討(拡充も含むを を検討(拡充も含むを を加速を を加速を を加速を を加速を を加速を を加速を を加速を を加	必要性の理を 働の程度・戸 電由/期待以、 意への配慮 た で	内容	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性(2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働をおいるか?(体制づくり) (体制づくの配慮 (1)目標設定は適切か?	我孫子市の人情進する 「「の転入」の「「の転入」の「「の転入」の「「大学」では、「ない、「ない、「ないいいは、「ないいいは、「ないいいいは、「ないいいいは、「ないいいいは、「ないいいいいいいは、「ないいいいは、「ないいいいは、「ない、「ないいいいいは、「ないいいいいは、「ないいいいは、「いいいいいいいは、「ないいいいいいいいいい	減っ事 マで体 る 導施ス援図 内にない するすさに 協 画画画連施 本 の る て し (おり、施 団るい べとこるよ b n 有有有携 c n 視 a l l l l l l l l l l l l l l l l l l	下い世代の定住化し 実施できない。 実施にいる。 実施にいる。 実施にいる。 実施にいる。 はできない。 を変し、 を変し	を促進したい。	平成26年度から東 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字	施した住宅取定性的地区へのの定体的な内容	現況値の差)と	○②事前確確 おり □○②市が住宅では、	R と と	どおりでなかっつでは、	た でなかった原因〉 は実施できなかっ な	た <市実施	を検討(拡充も含むを を を を を を を を を を を を を を を を を を を	必要性の理は 働の程度・グ 高への配慮 たころ	下であった原因>	○要 ○不要 ○不要 ○要 ○不要 ○ ○ ○ ○ ○ <t< td=""></t<>
2. 事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) (本制づくり) 環境(の配慮 (1) 目標設定は適切か? 効率 (2) 事業費削減の工夫をして	我孫子市の人口がある。の転入の転送の中によっての中にの事業では、「中国の人間では、「特別の、「特別の、「特別の、「特別の、「特別の、「特別の、「特別の、「特別の	減っ事 アで体 る 導施ス援図	が は	きい世代の定住化し 実めの定性化も 実めにある。 実めにないいる。 実がでする。 実がでする。 実がでする。 実がでする。 実ができないいる。 実ができないいる。 実ができないいる。 実ができないいる。 実ができないいる。 実ができないいる。 実ができないいる。 実ができないいる。 実がのできないいる。 実がのできないいる。 実がのでは、ののできた。 なととと此水ができなととといか。 のでは、のできなとのできた。 では、のできない。 では、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、の	を促進したい。	平成26年度から東京 1987 198	施した住宅取産 施山地区へのの定体側地区へのの容 内容 クロース 「大きり」 「ちり」 「ちり」 「ちり」 「ちり」 「ちり」 「ちり」 「ちり」 「ち	現況値の差)と	○② 東前 確	R と と	どおりでなかっつ 1/2 想定どおりでなかっつ 1/2 想定どおりでなかって 1/2 想定どおりで 1/2 であればく 1/2 であればと の目たで 1/2 では、 1	た でなかった原因 > は実施できなかっ はな音 現に	た <市実施	を検討(拡充も含むを放射・拡充を含むを変わり、 をかりになった 理なが なかった 原因 となった のもの また かんしょう にない かんしゃ にない かんしょう にない かんしょう にない かんしょう にない かんしょう にない たい かんしょう にない たい たんしょう にない たんしょう	必要性の理は 動の程度・プロックを表しています。 養への配慮 たでである。 ではありいても ではおりいても ではおりいても ではおりいても	内容 下であった原因>	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか?(体制づくり) (本制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? 効	我孫子市の人情進する 「「多女人」 「「多女人」 「「多女人」 「「大き性」 「理由」 「民間」 「理由」 「民間」 「日本法保ののあると、「一大き性」 「中市・現の他」 「中市・関係を共えませる。「中市・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・	減っ事 マで体 お導施ス援図 中極によい は 個面画連施 を 配 にいい献 標値 (b) 327 は る事業 要 ((b) 1 27 27 27 27 27 27 27 27 27 27 27 27 27	おり、施 団るい べとこるよ り 内 有有情 の ハ 視 い の () () 成 類 () () () () () () () () () (下い世代の事業としている。 まからにはいる を できない る できない の できない できない の できない できない の できない の できない の できない できない の できない できない の できない できない できない できない できない できない できない できない	を促進したい。	平成26年度から東信をでは、市内東信をでは、中央では、中央では、中央では、中央では、中央では、中央では、中央では、中央	施側地 という (という) は (を) で (という) は (という) は (を) で (という) は (とい	現況値の差)と	○② 東前 確	R と と	どおりでなかっつでは、	た でなかった原因 > は実施できなかっ はな音 現に	た <市実施	を検討(拡充も含むを を を を を を を を を を を を を を を を を を を	必要性の理は 動の程度・プロックを表しています。 養への配慮 たでである。 ではありいても ではおりいても ではおりいても ではおりいても	内容 下であった原因>	○ 要要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2) 市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境(に配慮して事業を進めずいるか? (1) 目標設定は適切か? 効率	我孫子市の人情がある。 ●① ① ○ ② ② ② ② ② ② ② ③ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	減っ事 アで体 る 導施ス援図	が	下い世代の事業としている。 まからにはいる を できない る できない の できない できない の できない できない の できない の できない の できない できない の できない できない の できない できない できない できない できない できない できない できない	で促進したい。 では、対象年齢のがある。 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。」 「中ででいる。」 「中ででいる。」 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。」	平成26年度から東 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字 字	施側地 という (という) は (を) で (という) は (という) は (を) で (という) は (とい	現況値の差)と	〇② 実績値 (g) (千 実績値 (g) (千 実績値 (g) (千 を) を) (② を) (千 を) を) ((R と と	どおりでなかっつでは、	た でなかった原因 > は実施できなかっ はな音 現に	た <市実施	を検討(拡充も含むを放射・拡充を含むを変わり、 をかりになった 理なが なかった 原因 となった のもの また かんしょう にない かんしゃ にない かんしょう にない かんしょう にない かんしょう にない かんしょう にない たい かんしょう にない たい たんしょう にない たんしょう	必要性の理は 動の程度・プロックを表しています。 養への配慮 たでである。 ではありいても ではおりいても ではおりいても ではおりいても	内容 下であった原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? 効率	我孫子市の人情がある。 ●① ① ○ ② ② ② ② ② ② ② ③ □ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	減少傾こかで、	おり、施 するい べとこるよ り 内 りり てい なりよ 策 容 でが よとに 政 なりり てい カ りり てい ウ 点 るりまり (d) 【 [[(く 今 の)] 2]	下は、 を を を を を を を を を を を を を	で促進したい。 では、対象年齢のがある。 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。」 「中ででいる。」 「中ででいる。」 「中ででいる。」 「中ででいる。 「中ででいる。」 「中ででいる。」	平成26年度から東 ・	施した住宅のの定性 (本のの) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の) (本の	現況値の差)と	〇② 実績値 (g) (千 実績値 (g) (千 実績値 (g) (千 を) を) (② を) (千 を) を) ((R と と * * * * * * * * * * * * * * * * *	どおりでなかっつ iv	た でなかった原因 > は実施できなかっ はな音 現に貢献 した れた マ (又は今後、は今後、は (文の内容) 目目標 標値 直え 近 (本) で (た < 市実前	を検討(拡充も含むを放射・拡充を含むを変わり、 をかりになった 理なが なかった 原因 となった のもの また かんしょう にない かんしゃ にない かんしょう にない かんしょう にない かんしょう にない かんしょう にない たい かんしょう にない たい たんしょう にない たんしょう	必要性の理(を) が が で あいま で で かい	内容 下であった原因> たについて はかった った原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり) 環境に配慮して事業を進めているか? (1)目標設定は適切か? 効率	我孫子市の人間に多いでは、「等主体」の「日本のでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年のでは、」」をいいます。「等年のでは、「等」のでは、「等年のでは、「等年のでは、「等」のでは、「等年のでは、「等」ので	減っ事 マで体 る導施ス援図 中によるするとに 協 画画画連施 を 配 いい献献 目標 値 (b) 327 よる事業 準 (%) は 事業 準 (%) は ない は ない は ない は ない は ない は ない ない ない ない ない ない ない は は で は ない は ない	おり、施 するい べとこるよ り 内 りり てい なりよ 策 容 でが よとに 政 なりり てい カ りり てい ウ 点 るりまり (d) 【 [[(く 今 の)] 2]	下は世代の事業とは、	でで、	平成26年度から東京 19容 中京 26年度から内容 中京 26年度から内容 中京 25年度の内容 25年度	施則地 と な 内容	現況値の差)との活用を抑えつつ効果	〇② 実績値 (g) (千 実績値 (g) (千 実績値 (g) (千 を) を) (② を) (千 を) を) ((R と L ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	どおりでなかっつでは、 は	た でなかった原因〉 は実施できなかった 原因〉 は実施できなかって 層 現 に た ま	た	を検討(拡充も含むを検討(拡充も含むを使う)を使うしたという。 では、 はいの はいまり はいまり はいまり はいまり はいまり はいまり はいまり はいまり	必要性の理(を) が が で あいま で で かい	内容 下であった原因> たについて はかった った原因>	○ 要要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性(2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市民との協働をおいるか?(体制づくり) (体制づくり) 環境(ここでは適切か?) (1)目標設定は適切か? 効率性(3)目標値を実現する為に	我孫子市の人間に多いでは、「等主体」の「日本のでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年ののでは、「等年のでは、」」をいいます。「等年のでは、「等」のでは、「等年のでは、「等年のでは、「等」のでは、「等年のでは、「等」ので	減少原にないます。 まず で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	おり、施 可るい べとこるよ り 内 有有情 の ハ 視	下は世代の事業とは、	でで、	平成26年度から東京 19 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	施則地 と な 内容	現況値の差)との活用を抑えつつ効果	○② マ	R と L ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	どおりでなかっつ iv	たでなかった原因〉 はな音のできなかった 層 現にできなかった 層 現に た	た	を検討(拡充も含むを検討(拡充も含むを使う)を使うしたという。 では、 はいの はいまり はいまり はいまり はいまり はいまり はいまり はいまり はいまり	必要性の理(を) が が で あいま で で かい	内容 下であった原因> たについて はかった った原因>	○ 要要 ○ ○ 不要 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由 背景は?(事業の必要性) 必要 性 (2) 市が実施する必要性は あるか? (市実施の必要性) 市民の参加や市の・ ないでは、はあった。 (体制づくり) 環境に配慮 (1) 目標設定は適切か? (1) 目標設定は適切か? (2) 事業費はでいるか? (体制がの配慮 (3) 目標である為に 分別では、 (4) 事業費はでいる。	我孫子市の人情達する ●① (回由) ■□ (理由) ■□ (理由) □□ (型・事業・運用民民他) □□ (型・事業の自共) (型・事業の自共) (型・事業の自共) (型・事業の自共) (型・事等の自共) (型・事等の自共) (型・事等の自共) (型・事等の自共	減少原にないます。 まず で は で は で は で は で は で は で は で は で は で	は	下い世代の事業としている。 「中では、いるのでは、い	でで、	平成26年度から東京 19容 中京 26年度から内容 中京 26年度から内容 中京 25年度の内容 25年度	施則地 と な 内容	現況値の差)との活用を抑えつつ効果	○② マ	R と L ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	どおりでなかっつでは、 は	たでなかった原因〉 はな音のできなかった 層 現にできなかった 層 現に た	た	を検討(拡充も含むを検討(拡充も含むを使う)を使うしたという。 では、 はいの はいまり はいまり はいまり はいまり はいまり はいまり はいまり はいまり	必要性の理(を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)	内容 下であった原因> たについて はかった った原因>	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2. 事業の評価 (DO+CHEC) 評価項目 (1) 事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2) 市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加や市か?(体制づくり) 「は動のH大大・関境に配慮しして事業を進めているか?(体制が)・(体制が	我孫子市の人情進するのに、「等主の中には、「今年人のを保」の「中では、「等主の中には、「等主の中には、「等主ののでは、「等主ののでは、「等主ののでは、「等主ののでは、「等主のでは、「等等」では、「等」で	減っ事 アで体 る導施ス援図	は	下は で	でで、	平成26年度から東京 (本文) (本文) (本文) (本文) (本文) (本文) (本文) (本文)	施則地区へのの定体側地区へのの容 (内容) (内容) (内容) (内容) (内容) (内容) (内容) (内容	住及び市外から 現況値の差)と の活用 を抑えつつ効果	○② マ	R と L ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	どおりでなかっつでは、 は	たでなかった原因〉 はな音のできなかった 層 現 に できなかった 層 現 に た に できなから 献 し た に 又は今後、 は その内容) 〇①②目目目 標標値 遠 成	た	を検討(拡充も含むを を	必要性の理(を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)	内容 下であった原因> たについて はかった った原因>	○
2. 事業の評価 (D0+CHEC) 評価項目 (1)事業が今必要である理由背景は?(事業の必要性) 必要性 (2)市が実施する必要性はあるか?(市実施の必要性) 市民の参加やおか?(体制づくり) (本制づくり) 環境に配慮して事業を進めるいるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業者前次の工夫をして投じ標を事業費はに投じ標本の表面に、との配慮では要素を選択する場所の記述の記述を表面に、といるか? (3)目標値を事業費用(目標対する場所) 3. 事後評価	我孫子市の人情進するのに、「等主の中には、「今年人のを保」の「中では、「等主の中には、「等主の中には、「等主ののでは、「等主ののでは、「等主ののでは、「等主ののでは、「等主のでは、「等等」では、「等」で	減っ事 アで体 る導施ス援図	り、施 引	下は で	でで、	平成26年度から東京 (本文) (本文) (本文) (本文) (本文) (本文) (本文) (本文)	施した住宅のの定体側地区へのの定体側地区へのの容 内容 「本価値」を表現して、 「本価値」を表現し、 「本価値」を表現し、を表現して、 「本価値」を表現して、 「本価値」を表現して、 「本価値」を表現して、 「本価値」を表現	住及び市外から 現況値の差)と の活用 を抑えつつ効果	○② マ	R と L ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	どおりでなかっつでは、 は	たでなかった原因〉 はな音のできなかった 層 現 に できなかった 層 現 に た に できなから 献 し た に 又は今後、 は その内容) 〇①②目目目 標標値 遠 成	た	を検討(拡充も含むを を	必要性の理(を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)を)	内容 下であった原因> たについて はかった った原因>	○